

View Cloud Pod アーキテク チャの管理

VMware Horizon 6 6.2



vmware®

最新の技術ドキュメントは、VMware の Web サイト (<https://docs.vmware.com/jp/>) でご確認ください。このドキュメントに関するご意見およびご感想は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

ヴァイエルムウェア株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

Copyright © 2019 VMware, Inc. All rights reserved. [著作権および商標情報](#)。

目次

View Cloud Pod アーキテクチャの管理 6

1 Cloud Pod アーキテクチャ 入門 7

- Cloud Pod アーキテクチャ の概要 7
 - グローバル データ レイヤのキー データの共有 8
 - ポッド間でのメッセージの送信 8
- Cloud Pod アーキテクチャ 環境の構成と管理 8
- Cloud Pod アーキテクチャの制限 8

2 Cloud Pod アーキテクチャ トポロジの設計 9

- Cloud Pod アーキテクチャ サイトの作成 9
- ポッド フェデレーションでのユーザーおよびグループの資格付与 10
- ポッド フェデレーションでのデスクトップおよびアプリケーションの検索と割り当て 10
 - 範囲ポリシーの概要 11
 - ホーム サイトの使用 11
- グローバル資格の例 12
- Cloud Pod アーキテクチャ トポロジの制限 13
- Cloud Pod アーキテクチャ ポート要件 13
- Cloud Pod アーキテクチャ トポロジに関するセキュリティ考慮事項 13

3 Cloud Pod アーキテクチャ 環境の設定 15

- Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化 15
- ポッドをポッド フェデレーションに参加させる 16
- グローバル資格の作成と構成 17
- サイトの作成と構成 21
- ユーザーまたはグループへのホーム サイトの割り当て 22
- Cloud Pod アーキテクチャ構成をテストする 23
- 例：基本的な Cloud Pod アーキテクチャ 構成の設定 24
 - トポロジ例の設計 25
 - 構成例の初期化 26
 - 構成例でのポッドの参加 26
 - 構成例でのサイトの作成 27
 - 構成例でのグローバル デスクトップ資格の作成 27
 - 構成例の View URL の作成 28

4 Cloud Pod アーキテクチャ 環境の管理 29

- Cloud Pod アーキテクチャ 構成を表示する 29
- View Administrator の View ポッド フェデレーションの健全性 31

ポッド フェデレーションのデスクトップ セッションおよびアプリケーション セッションの表示	31
ユーザーの有効なホーム サイトの特定	32
サイトへのポッドの追加	33
グローバル資格の変更	33
グローバル資格へのプールの追加	33
グローバル資格からのプールの削除	34
ユーザーまたはグループのグローバル資格への追加	34
グローバル資格からのユーザーまたはグループの削除	35
グローバル資格の属性またはポリシーの変更	35
グローバル資格の削除	36
ホーム サイトの関連付けの削除	37
ポッド フェデレーションからポッドを削除する	38
Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化解除	38

5 Imvutil コマンド リファレンス 40

Imvutil コマンドの使用	40
Imvutil コマンドでの認証	41
Imvutil コマンドの出力	41
Imvutil コマンドのオプション	41
Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化	44
Cloud Pod アーキテクチャ機能の無効化	44
ポッド フェデレーションの管理	45
ポッド フェデレーションへのポッドの参加	45
ポッド フェデレーションからのポッドの削除	46
ポッド名または説明の変更	47
サイトの管理	47
サイトの作成	48
サイトへのポッドの割り当て	48
サイト名前または説明の変更	49
サイトの削除	50
グローバル資格の管理	50
グローバル資格の作成	51
グローバル資格の変更	53
グローバル資格の削除	55
グローバル資格へのプールの追加	56
グローバル資格からのプールの削除	57
グローバル資格へのユーザーまたはグループの追加	57
グローバル資格からのユーザーまたはグループの削除	58
ホーム サイトの管理	59
ホーム サイトの構成	59
ホーム サイトの削除	60

Cloud Pod アーキテクチャ 構成の表示	61
グローバル資格の一覧表示	62
グローバル資格のプールの一覧表示	62
グローバル資格のユーザーまたはグループの一覧表示	63
ユーザーまたはグループのホーム サイトの一覧表示	64
ユーザーの有効なホーム サイトの一覧表示	64
デスクトップ プールの専用割り当ての一覧表示	65
Cloud Pod アーキテクチャ トポロジでのポッドまたはサイトの一覧表示	66
SSL 証明書の管理	66
保留中の証明書の作成	67
保留中の証明書のアクティベーション	67

View Cloud Pod アーキテクチャの管理

View Cloud Pod アーキテクチャの管理 では、Cloud Pod アーキテクチャ 環境を VMware Horizon[®] 6 で構成および管理する方法について説明しています。具体的には、Cloud Pod アーキテクチャ トポロジの計画、Cloud Pod アーキテクチャ 構成の設定、監視、メンテナンスの方法を紹介します。

対象読者

この情報は、Cloud Pod アーキテクチャ 環境の設定とメンテナンスを行う方を対象としています。本書に記載されている情報は、仮想マシンのテクノロジーとデータセンターの操作に精通した、経験豊富な Windows または Linux システム管理者向けに書かれています。

VMware の技術ドキュメントの用語集

VMware の技術ドキュメントには、専門的な用語などを集約した用語集があります。VMware の技術ドキュメントで使用されている用語の定義については、<http://www.vmware.com/support/pubs> をご覧ください。

Cloud Pod アーキテクチャ 入門

Cloud Pod アーキテクチャ機能では、標準の View コンポーネントを使用して、複数のデータセンターにわたる管理、ユーザーとデスクトップ間のグローバルで柔軟なマッピング、高可用性デスクトップ、ディザスタ リカバリなどの機能を提供します。

この章には、次のトピックが含まれています。

- Cloud Pod アーキテクチャ の概要
- Cloud Pod アーキテクチャ 環境の構成と管理
- Cloud Pod アーキテクチャの制限

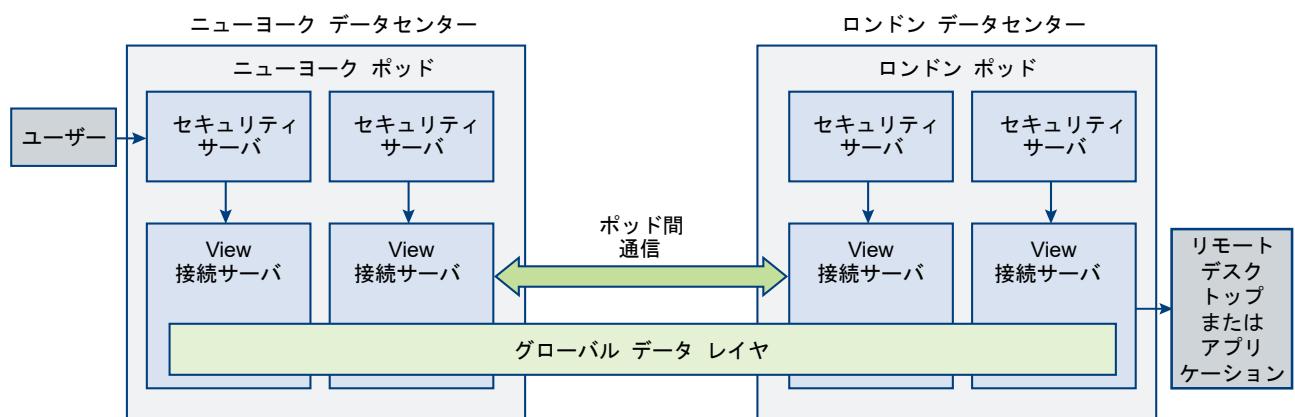
Cloud Pod アーキテクチャ の概要

Cloud Pod アーキテクチャ機能を利用することで、複数の View ポッドをまとめてリンクし、デスクトップとアプリケーションを仲介した単一の大きな環境を提供し、環境の管理を行います。

View ポッドは、デスクトップ仮想マシンとアプリケーション プールをホストするために必要な一式の View 接続サーバーインスタンス、共有ストレージ、データベース サーバ、vSphere インフラストラクチャ、ネットワーク インフラストラクチャなどから構成されます。従来の View 実装では、各ポッドの管理は個別に行われます。Cloud Pod アーキテクチャ機能を使用すると、複数のポッドを結合して、ポッド フェデレーションと呼ばれる単一の View 実装を構成できます。

各ポッド フェデレーションは複数のサイトとデータセンターにわたって構成できるため、大規模の View 展開を管理するうえで必要な作業を同時に簡易化できます。

図 1-1. 基本的な Cloud Pod アーキテクチャ トポロジ



この例のトポロジでは、もともと異なるデータセンターにあったスタンドアロン View ポッドがまとまり、単一のポッド フェデレーションを形成しています。この環境のエンド ユーザーは、ニューヨークのデータセンターの View 接続サーバインスタンスに接続して、ロンドンのデータセンターにあるデスクトップまたはアプリケーションを受信できます。

グローバル データ レイヤのキー データの共有

ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスはグローバル データ レイヤを使用してキー データを共有します。共有されるデータには、ポッド フェデレーション トポロジに関する情報、ユーザー資格とグループ資格、ポリシー、およびその他の Cloud Pod アーキテクチャ構成情報が含まれています。

Cloud Pod アーキテクチャ環境では、共有データがポッド フェデレーション内の各 View 接続サーバ インスタンスに複製されます。グローバル データ レイヤに保存される資格情報とトポロジ構成情報は、ポッド フェデレーションでデスクトップが割り当てられる場所と方法を定義します。

View は、Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化するとき、ポッド フェデレーション内の各 View 接続サーバ インスタンスでグローバル データ レイヤを設定します。

ポッド間でのメッセージの送信

View 接続サーバ インスタンスは、Cloud Pod アーキテクチャ 環境で、View InterPod API (VIPA) というポッド間通信プロトコルを使用して通信します。

View 接続サーバ インスタンスは、VIPA 通信チャネルを使用して新しいデスクトップの起動、既存デスクトップの検出、健全性ステータス データなどの情報の共有を行います。View は、Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化するとき、VIPA 通信チャネルを構成します。

Cloud Pod アーキテクチャ 環境の構成と管理

Cloud Pod アーキテクチャ 環境の構成と管理には、View Administrator および `lmvutil` コマンドライン インターフェイスを使用します。`lmvutil` は、View インストールの一部としてインストールされます。ポッドの健全性情報とデスクトップ セッション情報の表示に View Administrator を使用することもできます。

注: View Administrator を使用して Cloud Pod アーキテクチャ ホームサイトを作成し、管理することはできません。これらのタスクを実行するには、`lmvutil` コマンドを使用する必要があります。

Cloud Pod アーキテクチャの制限

Cloud Pod アーキテクチャ機能は、IPv6 環境ではサポートされません。

Cloud Pod アーキテクチャ トポロジ の設計

2

Cloud Pod アーキテクチャ機能の構成を開始する前に、Cloud Pod アーキテクチャ トポロジを決定する必要があります。Cloud Pod アーキテクチャ トポロジは、目的やユーザーのニーズ、および既存の View 実装によって異なることがあります。既存の View ポッドをポッド フェデレーションに参加させる場合の Cloud Pod アーキテクチャ トポロジは、一般に既存のネットワーク トポロジに基づいたものになります。

この章には、次のトピックが含まれています。

- Cloud Pod アーキテクチャ サイトの作成
- ポッド フェデレーションでのユーザーおよびグループの資格付与
- ポッド フェデレーションでのデスクトップおよびアプリケーションの検索と割り当て
- グローバル資格の例
- Cloud Pod アーキテクチャ トポロジの制限
- Cloud Pod アーキテクチャ ポート要件
- Cloud Pod アーキテクチャ トポロジに関するセキュリティ考慮事項

Cloud Pod アーキテクチャ サイトの作成

Cloud Pod アーキテクチャ環境におけるサイトとは、同一の物理的場所（通常は単一データセンター内）で適切に接続されたポッドの集合のことです。Cloud Pod アーキテクチャ機能では、同一サイト内のポッドを等価なものとして扱います。

Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化すると、すべてのポッドが Default First Site と呼ばれるデフォルト サイトに配置されます。実装が大規模な場合は、追加サイトを作成して、ポッドをそれらの追加サイトに追加することもできます。

Cloud Pod アーキテクチャ機能では、同じサイト内のポッドは同じ LAN 上にあること、および異なるサイト内のポッドは異なる LAN 上にあることを想定しています。WAN 接続されたポッドのネットワーク パフォーマンスは低いいため、Cloud Pod アーキテクチャ機能は、ユーザーにデスクトップおよびアプリケーションを割り当てるときに、ローカルのポッドまたはサイト内にあるデスクトップおよびアプリケーションを優先します。

サイトは、ディザスタ リカバリ ソリューションで有用な役割を果たすことがあります。たとえば、さまざまなデータセンター内のポッドをさまざまなサイトに割り当てて、それらのサイト全体にわたるプールに対する資格をユーザーやグループに割り当てることができます。あるサイトのデータセンターが使用不可になった場合は、使用可能なサイトからデスクトップおよびアプリケーションを使用して、ユーザーの要求を満たすことができます。

ポッド フェデレーションでのユーザーおよびグループの資格付与

従来の View 環境では、資格を作成するために View Administrator を使用します。これらのローカル資格では、View 接続サーバインスタンス上の特定のデスクトップ プールまたはアプリケーション プールに対してユーザーおよびグループに資格を付与します。

Cloud Pod アーキテクチャ環境では、グローバル資格を作成して、ポッド フェデレーション内の複数のポッドにわたる複数のデスクトップおよびアプリケーションに対してユーザーまたはグループに資格を付与します。グローバル資格を使用すると、ローカル資格を構成および管理する必要はありません。ポッドを 1 つ含むポッド フェデレーションであっても、グローバル資格によって管理がシンプルになります。

View は、グローバル資格をグローバル データ レイヤに格納します。グローバル資格は共有データであるため、グローバル資格情報はポッド フェデレーション内のすべての View 接続サーバインスタンスで使用できます。

グローバル デスクトップ資格を作成して、デスクトップに対する資格をユーザーおよびグループに付与します。各グローバル デスクトップ資格には、メンバー ユーザーまたはグループのリスト、資格のあるユーザーにデスクトップを提供できるデスクトップ プールのリスト、および範囲ポリシーが含まれています。グローバル資格内のデスクトップ プールは、流動プールでも専用プールでもかまいません。グローバル資格が流動と専用のどちらであるかは、グローバル資格の作成時に指定します。

グローバル アプリケーション資格を作成して、アプリケーションに対する資格をユーザーおよびグループに付与します。各グローバル アプリケーション資格には、メンバー ユーザーまたはグループのリスト、資格のあるユーザーにアプリケーションを提供できるアプリケーション プールのリスト、および範囲ポリシーが含まれています。

グローバル資格の範囲ポリシーでは、View がグローバル資格内のユーザーにデスクトップまたはアプリケーションを割り当てるときに、デスクトップまたはアプリケーションを探す場所を指定します。また、View がデスクトップまたはアプリケーションを探すときに、ポッド フェデレーション内の任意のポッド、同じサイト内に存在するポッド、ユーザーが接続しているポッドのみのどれを対象とするのかを指定します。

ベスト プラクティスとして、ローカル資格とグローバル資格を同じデスクトップ プールに対して構成しないでください。たとえば、同じデスクトップ プールに対してローカル資格とグローバル資格の両方を作成する場合、Horizon Client が資格のあるユーザーに表示するデスクトップおよびアプリケーションのリストに、同じデスクトップがローカルおよびグローバル資格として表示されることがあります。同じように、同じファームから作成されたアプリケーション プールに対してローカル資格とグローバル資格の両方を構成しないでください。

ポッド フェデレーションでのデスクトップおよびアプリケーションの検索と割り当て

Cloud Pod アーキテクチャ環境の View 接続サーバインスタンスは、グローバル データ レイヤから共有されているグローバル資格およびトポロジ構成情報を使用して、検索する場所、およびポッド フェデレーションでデスクトップおよびアプリケーションを割り当てる方法を指定します。

ユーザーがグローバル資格からデスクトップまたはアプリケーションを要求すると、View は、そのグローバル資格に関連付けられているプール内で使用可能なデスクトップまたはアプリケーションを検索します。デフォルトの場合、View は、ローカル ポッド、ローカル サイト、およびその他のサイトのポッド内の順に検索します。

View は、専用デスクトップ プールを含むグローバル デスクトップ資格の場合、ユーザーが初めてデスクトップを要求したときのみデフォルトの検索動作を使用します。View が専用デスクトップを割り当てると、ユーザーは同じデスクトップへと直接戻ります。

範囲ポリシーを設定してホーム サイトを構成することにより、個別のグローバル資格に対する検索および割り当て動作を変更することができます。

範囲ポリシーの概要

グローバル デスクトップ資格またはグローバル アプリケーション資格を作成する場合、その範囲ポリシーを指定する必要があります。範囲ポリシーでは、View がグローバル資格の要求を満たすデスクトップまたはアプリケーションを検索するときの検索範囲を指定します。

範囲ポリシーは、View が、ユーザーが接続するポッドのみ、ユーザーのポッドと同じサイト内のポッドのみ、またはポッド フェデレーションのすべてのポッドで検索するように設定できます。

専用のプールを含むグローバル デスクトップ資格の場合、範囲ポリシーは、ユーザーが専用デスクトップを初めて要求したときに View がデスクトップを検索する場合に対して影響します。View が専用デスクトップを割り当てると、ユーザーは同じデスクトップへと直接戻ります。

ホーム サイトの使用

ホーム サイトはユーザーまたはグループと、Cloud Pod アーキテクチャ サイトとの間の関係です。ユーザーの現在の場所に基づいてデスクトップおよびアプリケーションを受信するのではなく、ホーム サイトによって、ユーザーが常に特定のサイトからデスクトップおよびアプリケーションを受信できるようにします。Cloud Pod アーキテクチャ機能には、以下のホーム サイト割り当ての種類があります。

グローバル ホーム サイト

ユーザーまたはグループに割り当てられているホーム サイト。

ホーム サイトを持つユーザーが別のホーム サイトに関連付けられているグループに属している場合、ユーザーに関連付けられているホーム サイトはグループ ホーム サイトの割り当てよりも優先されます。

グローバル ホーム サイトはローミング ユーザーがデスクトップおよびアプリケーションを受信する場所を制御するのに便利です。たとえば、ホーム サイトがニューヨークにあるユーザーがロンドンを訪れている場合、View はユーザーに近いデスクトップを割り当てのではなく、ニューヨークのサイトでユーザーのデスクトップ要求を満たすようにします。グローバル ホーム サイト割り当てはすべてのグローバル資格に適用されます。

重要: デフォルトでは、グローバル資格がホーム サイトを認識しません。グローバル資格でホーム サイトを使用するには、グローバル資格を作成または変更するときに [ホーム サイトを使用する] オプションを選択する必要があります。

グローバル資格ごとのホーム サイト

グローバル資格に関連付けられているホーム サイト。

lmvutil コマンドを使用してユーザーまたはグループ用にホーム サイトを作成する場合は、--entitlementName オプションを使用してグローバル資格を指定できます。グローバル資格ごとのホーム サイトはグローバル ホーム サイト割り当てをオーバーライドします。

たとえば、ニューヨークにホーム サイトがあるユーザーが、そのユーザーをロンドンのホーム サイトに関連付けるグローバル資格にアクセスする場合、View はニューヨークのサイトからアプリケーションを割り当ててのではなく、ユーザーのアプリケーション要求をロンドンのサイトで満たすようにします。

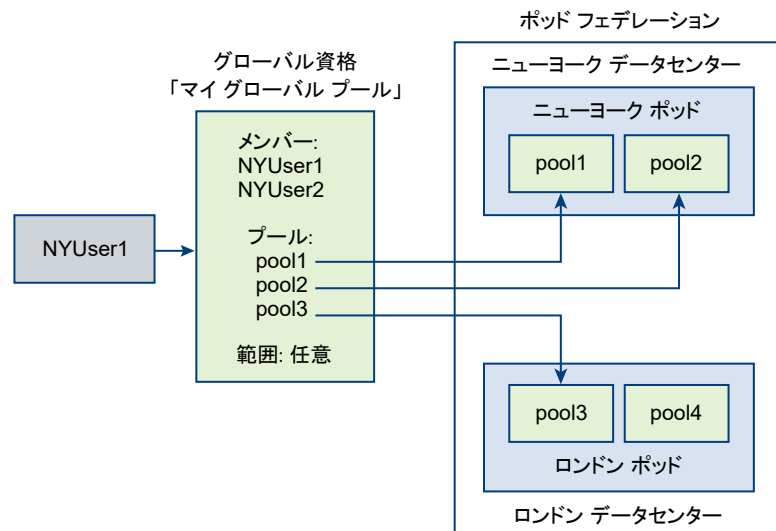
--createGroupHomeSite オプションを指定して lmvutil コマンドを使用し、グローバル資格ごとのホーム サイトを作成する場合は、ホーム サイト ユーザーを含むすべての Active Directory ユーザー グループに明示的に資格を割り当てする必要があります。ネストされたユーザー グループがある場合は、親グループに資格を割り当てただけでは不十分です。この場合、親グループにはグローバル資格が明示的に割り当てられますが、サブグループには割り当てられず、--createGroupHomeSite オプションに失敗します。

ホーム サイトの構成はオプションです。ユーザーがホーム サイトを持っていない場合、View はポッド フェデレーションでのデスクトップおよびアプリケーションの検索と割り当てに説明されているようにデスクトップおよびアプリケーションを検索して割り当てます。

グローバル資格の例

この例で、NYUser1 はグローバル デスクトップ資格 My Global Pool のメンバーです。My Global Pool は、3 つのフローティング デスクトップ プール pool1、pool2、および pool3 に対する資格を提供します。pool1 および pool2 は New York データセンター内のポッド NY Pod にあり、pool3 および pool4 は London データセンター内のポッド LDN Pod にあります。

図 2-1. グローバル資格の例



My Global Pool の範囲ポリシーは ANY であるため、Cloud Pod アーキテクチャ機能は、NYUser1 がデスクトップを要求したときに、NY Pod と LDN Pod の両方にわたってデスクトップを探します。pool4 は My Global Pool に含まれないため、Cloud Pod アーキテクチャ機能は pool4 からデスクトップを割り当てようとしません。

デスクトップが使用可能な場合は、NYUser1 が NY Pod にログインすると、Cloud Pod アーキテクチャ機能は pool1 または pool2 からデスクトップを割り当てます。デスクトップが pool1 でも pool2 でも使用できない場合、Cloud Pod アーキテクチャ機能は pool3 からデスクトップを割り当てます。

Cloud Pod アーキテクチャ トポロジの制限

Cloud Pod アーキテクチャ トポロジは、一般に、ポッド フェデレーション内で一緒にリンクされた 2 つ以上の View ポッドで構成されます。ポッド フェデレーションは一定の制限を受けます。

表 2-1. ポッド フェデレーションの制限

オブジェクト	制限
ユーザー数	20,000
ポッド	4
サイト	2
View 接続サーバ インスタンス	20

Cloud Pod アーキテクチャ ポート要件

Cloud Pod アーキテクチャが機能するためには、Windows ファイアウォールで特定のネットワーク ポートを開く必要があります。View 接続サーバをインストールするときは、必要なファイアウォール ルールをインストール プログラムのオプションで構成できます。これらのルールは、デフォルトで使用されるポートを開きます。インストール後にデフォルトのポートを変更する場合、またはネットワークに他のファイアウォールがある場合は、Windows ファイアウォールを手動で構成する必要があります。

表 2-2. View 接続サーバのインストール時に開かれるポート

TCP ポート	説明
22389	グローバル データ レイヤ LDAP インスタンスはこのポートで動作します。共有データは、ポッド フェデレーション内の各 View 接続サーバ インスタンスに複製されます。ポッド フェデレーション内の各 View 接続サーバ インスタンスは、2 番目の LDAP インスタンスを実行して共有データを格納します。
8472	VIPA (View Interpod API) 通信チャネルは、このポートで動作します。View 接続サーバ インスタンスは、VIPA 通信チャネルを使用して新しいデスクトップおよびアプリケーションの起動、既存デスクトップの検出、健全性ステータス データなどの情報の共有を行います。

Cloud Pod アーキテクチャ トポロジに関するセキュリティ考慮事項

View Administrator または `lmvutil` コマンドを使用して Cloud Pod アーキテクチャ 環境を構成し、管理するには、Administrators ロールを持つ必要があります。ルート アクセス グループに対する管理者ロールを持つユーザーは、スーパー ユーザーです。

View 接続サーバ インスタンスが、View 接続サーバ インスタンスの複製されたグループの一部である場合、スーパー ユーザーの権限は、ポッド内の他の View 接続サーバ インスタンスまで拡張されます。同様に、ポッドがポッド フェデレーションに参加している場合、スーパー ユーザーの権限は、ポッド フェデレーション内のすべてのポッドのすべての View 接続サーバ インスタンスまで拡張されます。これらの権限は、グローバル データ レイヤでグローバル資格を変更し、他の操作を実行するために必要です。

特定のスーパー ユーザーが、グローバル データ レイヤで操作をできないようにするには、管理者ロール割り当てを削除し、代わりにローカル管理者ロールを割り当てることができます。ローカル管理者ロールを持つユーザーは、ローカルの View 接続サーバ インスタンスおよび複製されたグループの任意のインスタンスのみでスーパー ユーザー権限を持ちます。

View Administrator でのロールの割り当ての詳細については、『View 管理』を参照してください。

Cloud Pod アーキテクチャ 環境の設定

3

Cloud Pod アーキテクチャ 環境を設定するには、Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化し、ポッドをポッド フェデレーションに参加させ、グローバル資格を作成します。

Cloud Pod アーキテクチャ機能を使用するには、少なくとも 1 つのグローバル資格を作成および構成する必要があります。オプションでサイトを作成し、ホーム サイトを割り当てることができます。

この章には、次のトピックが含まれています。

- [Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化](#)
- [ポッドをポッド フェデレーションに参加させる](#)
- [グローバル資格の作成と構成](#)
- [サイトの作成と構成](#)
- [ユーザーまたはグループへのホーム サイトの割り当て](#)
- [Cloud Pod アーキテクチャ構成をテストする](#)
- [例：基本的な Cloud Pod アーキテクチャ 構成の設定](#)

Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化

Cloud Pod アーキテクチャ 環境を構成する前に、Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化する必要があります。

Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化が必要なのは、ポッド フェデレーション内の最初のポッドで 1 回だけです。ポッド フェデレーションにポッドを追加するには、初期化されたポッドに新しいポッドを参加させます。

初期化プロセスの間、View によってポッド内の各 View 接続サーバ インスタンス上にグローバル データ レイヤが設定され、VIPA 通信チャンネルが構成され、各 View 接続サーバ インスタンスとの間にレプリケーション契約が確立されます。

手順

- 1 ポッド内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。

Cloud Pod アーキテクチャ機能は、ポッド内のどの View 接続サーバ インスタンスからでも初期化できます。

- 2 View Administrator で、[View 構成] - [Cloud Pod アーキテクチャ] を選択し、[Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期する] をクリックします。

- 3 [初期化] ダイアログ ボックスが表示されたら、[OK] をクリックして初期化プロセスを開始します。

View Administrator は初期化プロセスの進行状況を示します。初期化プロセスには数分かかることがあります。

Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されると、ポッド フェデレーションに初期化されたポッドと単一のサイトが含まれた状態になります。ポッド フェデレーションのデフォルト名は Horizon Cloud Pod Federation です。ポッドのデフォルト名は、View 接続サーバ インスタンスのホスト名に基づきます。たとえば、ホスト名が CS1 の場合、ポッド名は Cluster-CS1 です。デフォルトのサイト名は Default First Site です。

- 4 View Administrator がクライアントの再ロードを求めるメッセージを表示したら、[OK] をクリックします。

View Administrator ユーザー インターフェイスが更新されると、View Administrator のインベントリ パネルで [グローバル資格] が [カタログ] の下に表示され、[サイト] が [View 構成] の下に表示されます。

- 5 (オプション) ポッド フェデレーションのデフォルト名を変更するには、[View 構成] - [Cloud Pod アーキテクチャ] を選択し、[編集] をクリックし、[名前] テキスト ボックスに新しい名前を入力して [OK] をクリックします。
- 6 (オプション) ポッドのデフォルト名を変更するには、[View 構成] - [サイト] を選択し、ポッドを選択して [編集] をクリックし、[名前] テキスト ボックスに新しい名前を入力して [OK] をクリックします。
- 7 (オプション) サイトのデフォルト名を変更するには、[View 構成] - [サイト] を選択し、サイトを選択して [編集] をクリックし、[名前] テキスト ボックスに新しい名前を入力して [OK] をクリックします。

次のステップ

ポッド フェデレーションにポッドをさらに追加するには、[ポッドをポッド フェデレーションに参加させる](#)を参照してください。

ポッドをポッド フェデレーションに参加させる

Cloud Pod アーキテクチャ初期化プロセス実行時に、Cloud Pod アーキテクチャ機能が単一のポッドを含むポッド フェデレーションを作成します。View Administrator を使用して、ポッド フェデレーションに追加のポッドを参加させることができます。追加のポッドの参加はオプションです。

重要: ポッド フェデレーションに参加する操作を実行している間は、View 接続サーバ インスタンスを停止したり開始したりしないでください。View 接続サーバ サービスが正しく再起動しない可能性があります。View 接続サーバは、ポッド フェデレーションに正常に参加した後で停止したり開始したりできます。

前提条件

- 参加する View 接続サーバ インスタンスの名前がそれぞれ異なっていることを確認します。同じ名前のサーバは、インスタンスが異なるドメインにあるとしても、参加することはできません。
- Cloud Pod アーキテクチャの機能を初期化します。[Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化](#)を参照してください。

手順

- 1 ポッド フェデレーションに参加するポッド内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[View 構成] - [Cloud Pod アーキテクチャ]を選択し、[ポッド フェデレーションに参加する]をクリックします。
- 3 [接続サーバ] テキスト ボックスに、初期化された任意のポッド、またはすでにポッド フェデレーションに参加済みの任意のポッドで、任意の View 接続サーバ インスタンス の ホスト名または IP アドレスを入力します。
- 4 [ユーザ名] テキスト ボックスに、すでに初期化されたポッドの View 管理者ユーザの名前を入力します。
フォーマット `domain\username` を使用します。
- 5 [パスワード] テキスト ボックスに、View 管理者ユーザのパスワードを入力します。
- 6 [OK] をクリックしてポッド フェデレーションにポッドを参加させます。

View Administrator は参加操作の進行状況を示します。ポッドのデフォルト名は、View 接続サーバ インスタンスのホスト名に基づきます。たとえば、ホスト名が CS1 の場合、ポッド名は Cluster-CS1 です。
- 7 View Administrator がクライアントの再ロードを求めるメッセージを表示したら、[OK] をクリックします。

View Administrator ユーザー インターフェイスが更新されると、View Administrator のインベントリ パネルで [グローバル資格] が [カタログ] の下に表示され、[サイト] が [View 構成] の下に表示されます。
- 8 (オプション) ポッドのデフォルト名を変更するには、[View 構成] - [サイト] を選択し、ポッドを選択して [編集] をクリックし、[名前] テキスト ボックスに新しい名前を入力して [OK] をクリックします。

ポッドをポッド フェデレーションに参加させた後、健全性データの共有を開始します。この健全性データは、View Administrator のダッシュボードで表示できます。[View Administrator の View ポッド フェデレーションの健全性](#)を参照してください。

注: View Administrator で健全性データが使用可能になるまで短い遅延時間が発生する可能性があります。

次のステップ

これらの手順を繰り返して、ポッド フェデレーションに追加のポッドを参加させることができます。

グローバル資格の作成と構成

グローバル資格を使用して、Cloud Pod アーキテクチャ環境のデスクトップおよびアプリケーションに対する資格をユーザーおよびグループに付与します。グローバル資格では、デスクトップおよびアプリケーションがポッド フェデレーションのどこにあるかにかかわらず、ユーザーとそのデスクトップおよびアプリケーション間のリンクを提供します。

グローバル資格には、メンバー ユーザーまたはグループのリスト、資格のあるユーザーにデスクトップまたはアプリケーションを提供できるプールのリスト、および一連のポリシーが含まれます。ユーザーおよびグループの両方、ユーザーのみ、グループのみのいずれかをグローバル資格に追加できます。個々のプールは、1 つのグローバル資格にのみ追加することができます。

前提条件

- 作成するグローバル デスクトップ資格のタイプ、グローバル資格に含めるユーザー、グループ、プール、およびグローバル資格の範囲を決定します。 [ポッド フェデレーションでのユーザーおよびグループの資格付与](#)を参照してください。
- グローバル資格でホーム サイトを使用する必要があるかどうかを決定します。 [ホーム サイトの使用](#)を参照してください。
- グローバル資格に含めるデスクトップ プールまたはアプリケーション プールを作成します。プールを作成する方法については、『View でのデスクトップ プールとアプリケーション プールの設定』ドキュメントを参照してください。
- グローバル資格に含めるユーザーおよびグループを決定します。
- Cloud Pod アーキテクチャの機能を初期化します。 [Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化](#)を参照してください。

手順

- 1 ポッド フェデレーション内の View 接続サービ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[カタログ] - [グローバル資格] を選択し、[追加] をクリックします。
- 3 追加するグローバル資格のタイプを選択して、[次へ] をクリックします。

オプション	説明
デスクトップに対する資格	グローバル デスクトップ資格を追加します。
アプリケーションに対する資格	グローバル アプリケーション資格を追加します。

- 4 グローバル資格を構成します。
 - a [名前] テキスト ボックスにグローバル資格の名前を入力します。
 名前には 1 文字から 64 文字が使用できます。これは、資格のあるユーザーの Horizon Client の使用可能なデスクトップおよびアプリケーションのリストに表示される名前です。
 - b (オプション) [説明] テキスト ボックスにグローバル資格の説明を入力します。
 説明には 1 文字から 1024 文字が使用できます。
 - c グローバル デスクトップ資格を構成する場合、ユーザー割り当てポリシーを選択します。
 ユーザー割り当てポリシーでは、グローバル デスクトップ資格に含めることができるデスクトップ プールのタイプを指定します。選択できるユーザー割り当てポリシーは 1 つのみです。

オプション	説明
流動	流動デスクトップ資格を作成します。流動デスクトップ資格には流動デスクトップ プールのみを含めることができます。
専用	専用デスクトップ資格を作成します。専用デスクトップ資格には専用デスクトップ プールのみを含めることができます。

- d グローバル資格用の範囲ポリシーを選択します。

範囲ポリシーでは、グローバル資格からの要求を満たすデスクトップまたはアプリケーションを探す場所を指定します。選択できる範囲ポリシーは 1 つのみです。

オプション	説明
すべてのサイト	ポッド フェデレーションの任意のポッドで View がデスクトップまたはアプリケーションを探します。
サイト内	ユーザーが接続しているポッドと同じサイト内のポッドでのみ View がデスクトップまたはアプリケーションを探します。
ポッド内	ユーザーが接続しているポッドでのみ View がデスクトップまたはアプリケーションを探します。

- e (オプション) ユーザーにホーム サイトがある場合は、グローバル資格のホーム サイト ポリシーを構成します。

オプション	説明
ホーム サイトを使用する	View によってユーザーのホーム サイト内のデスクトップまたはアプリケーションが検索されるようになります。ユーザーにホーム サイトがなく、[資格のあるユーザーにはホーム サイトが必要である] オプションが選択されていない場合、ユーザーが現在接続しているサイトがホーム サイトと見なされます。
資格のあるユーザーにはホーム サイトが必要である	ユーザーにホーム サイトがある場合のみグローバル資格が使用可能になります。このオプションは、[ホーム サイトを使用する] オプションが選択されている場合のみ利用可能です。

- f (オプション) [冗長セッションを自動的にクリーンアップする] オプションを使用して、冗長セッションを自動的にクリーンアップするかどうかを指定します。

注: このオプションは、流動デスクトップ資格およびグローバル アプリケーション資格でのみ利用可能です。

複数のセッションは、セッションを含むポッドがオフラインになり、ユーザーが再度ログインして別のセッションを開始し、問題のポッドが元のセッションでオンラインに戻るときに発生する可能性があります。複数のセッションが発生すると、セッションを選択するように指示するメッセージが Horizon Client によって表示されます。このオプションは、ユーザーが選択しないセッションに何が発生するかを決定します。このオプションを選択しない場合、ユーザーは Horizon Client でログオフするか、セッションを起動してログオフして、自身の余剰セッションを手動で終了する必要があります。

- g グローバル デスクトップ資格を構成する場合、グローバル デスクトップ資格におけるデスクトップのデフォルト表示プロトコルを選択し、ユーザーがデフォルト表示プロトコルをオーバーライドできるかどうかを指定します。

- h グローバル デスクトップ資格を構成する場合、グローバル デスクトップ資格でユーザーがデスクトップをリセットできるかどうかを選択します。
- i グローバル資格でユーザーが HTML Access 機能を使用してデスクトップまたはアプリケーションにアクセスできるかどうかを選択します。

HTML Access を使用すると、エンド ユーザーは Web ブラウザを使用してリモート デスクトップおよびアプリケーションに接続できるため、ローカル システムにクライアント ソフトウェアをインストールする必要がありません。

- 5 [次へ] をクリックして、グローバル資格にユーザーまたはグループを追加します。
 - a [追加] をクリックして、1 つ以上の検索条件を選択し、[検索] をクリックして検索条件に基づいて Active Directory ユーザーまたはグループをフィルタ処理します。
 - b グローバル資格に追加する Active Directory ユーザーまたはグループを選択して、[OK] をクリックします。
<Ctrl> + <Shift> キーを押すと、複数のユーザーやグループを選択できます。

- 6 [次へ] をクリックし、グローバル資格の構成を確認してから、[完了] をクリックしてグローバル資格を作成します。
グローバル資格が [グローバル資格] ページに表示されます。

- 7 作成したグローバル資格内のユーザー用にデスクトップまたはアプリケーションを提供できるプールを選択します。
 - a グローバル資格に追加するプールを含むポッド内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
 - b View Administrator で、[カタログ] - [グローバル資格] を選択します。
 - c グローバル資格をダブルクリックします。
 - d [ローカル プール] タブで、[追加] をクリックし、追加するプールを選択し、[追加] をクリックします。

Ctrl + Shift キーを押すと、複数のプールを選択できます。

グローバル資格にすでに関連付けられている、またはグローバル資格用に選択したポリシーの基準を満たさないプールは、表示されません。たとえば、HTML Access ポリシーを有効にした場合、HTML Access を許可しないプールを選択することはできません。

重要: グローバル アプリケーション資格に複数のアプリケーション プールを追加する場合、同じアプリケーションを追加する必要があります。たとえば、電卓と Microsoft Office PowerPoint を同じグローバル アプリケーション資格に追加しないでください。異なるアプリケーションを同じグローバル アプリケーション資格に追加すると、資格のあるユーザーにその都度異なるアプリケーションが提供されます。

- e グローバル資格に追加するプールを含む各ポッド内の View 接続サーバ インスタンスでこれらの手順を繰り返します。

Cloud Pod アーキテクチャ機能では、グローバル資格がグローバル データ レイヤに保存され、そこでポッド フェデレーションの各ポッドにグローバル資格が複製されます。資格のあるユーザーが Horizon Client を使用してポッド フェデレーションの View 接続サーバに接続すると、使用可能なデスクトップおよびアプリケーションのリストにグローバル資格の名前が表示されます。

注: デスクトップ プールがグローバル デスクトップ資格に関連付けられた後で、View 管理者がプールレベルの表示プロトコルまたはプロトコルのオーバーライド ポリシーを変更した場合、ユーザーがグローバル デスクトップ資格を選択するとデスクトップの起動エラーが表示されることがあります。デスクトップ プールがグローバル デスクトップ資格に関連付けられた後で、View 管理者がプールレベルの仮想マシンのリセット ポリシーを変更した場合、ユーザーがデスクトップをリセットしようとする、エラーが表示されることがあります。

サイトの作成と構成

Cloud Pod アーキテクチャ トポロジに複数のポッドが含まれる場合は、それらのポッドを複数のサイトにグループ化することもできます。Cloud Pod アーキテクチャ機能では、同一サイト内のポッドを等価なものとして扱います。

前提条件

- Cloud Pod アーキテクチャ トポロジにサイトを含めるべきかどうかを決定します。 [Cloud Pod アーキテクチャ サイトの作成](#)を参照してください。
- Cloud Pod アーキテクチャの機能を初期化します。 [Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化](#)を参照してください。

手順

- 1 ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 サイトを作成します。
 - a View Administrator で、[View 構成] - [サイト] を選択し、[追加] をクリックします。
 - b [名前] テキスト ボックスにサイトの名前を入力します。
サイト名には 1 文字から 64 文字が使用できます。
 - c (オプション) [説明] テキスト ボックスにサイトの説明を入力します。
サイト名には 1 文字から 1024 文字が使用できます。
 - d [OK] をクリックしてサイトを作成します。

3 サイトにポッドを追加します。

サイトに追加するポッドごとにこの手順を繰り返します。

- a View Administrator で、[View 構成] - [サイト] を選択し、現在サイトに追加するポッドを含んでいるサイトを選択します。

サイト内のポッドの名前が下部ペインに表示されます。

- b サイトに追加するポッドを選択して、[編集] をクリックします。
- c [サイト] ドロップダウン メニューからサイトを選択し、[OK] をクリックします。

ユーザーまたはグループへのホーム サイトの割り当て

ホーム サイトはユーザーまたはグループと、Cloud Pod アーキテクチャ サイトとの間の関係です。ホーム サイトは、ユーザーが移動中であっても、常に特定のデータセンターからデスクトップおよびアプリケーションを受信できるようにします。ホーム サイトの作成はオプションです。

前提条件

- Cloud Pod アーキテクチャ 環境のユーザーまたはグループにホーム サイトを割り当てるかどうかを決定します。 [ホーム サイトの使用](#)を参照してください。
- ポッド フェデレーションの内のポッドをサイトにグループ化します。 [サイトの作成と構成](#)を参照してください。
- デフォルトでは、グローバル資格はホーム サイトを使用しません。グローバル資格からデスクトップを割り当てるときに View がユーザーのホーム サイトを使用するには、グローバル資格を作成するときに、[ホーム サイトを使用する] オプションを選択する必要があります。 [グローバル資格の作成と構成](#)を参照してください。
- Cloud Pod アーキテクチャの機能を初期化します。 [Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化](#)を参照してください。
- lmvutil コマンドの認証オプションと要件について理解し、lmvutil コマンドを実行するための十分な権限があることを確認します。 [lmvutil コマンドでの認証](#)を参照してください。

手順

- ◆ ユーザーのホーム サイトを作成するには、`--createUserHomeSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

このコマンドは、ポッド フェデレーション内のどの View 接続サーバ インスタンスでも実行できます。

```
lmvutil --createUserHomeSite --userName domain\username --siteName name [--entitlementName name]
```

オプション	説明
<code>--userName</code>	ユーザーの名前。フォーマット <code>domain\username</code> を使用します。
<code>--siteName</code>	ホーム サイトとしてユーザーに関連付けるサイトの名前。
<code>--entitlementName</code>	(オプション) ホーム サイトに関連付けるグローバル資格の名前。指定したグローバル資格をユーザーが選択すると、ホーム サイトによりユーザー独自のホーム サイトが上書きされます。このオプションを指定しない場合、コマンドはグローバルなユーザー ホーム サイトを作成します。

例：

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --createUserHomeSite --
userName example\adminEast --siteName "Eastern Region" --entitlementName "Agent Sales"
```

- ◆ グループのホーム サイトを作成するには、`lmvutil` オプションを指定して `--createGroupHomeSite` コマンドを実行します。

このコマンドは、ポッド フェデレーション内のどの View 接続サーバ インスタンスでも実行できます。

```
lmvutil --createGroupHomeSite --userName domain\username --siteName name [--
entitlementName name]
```

オプション	説明
<code>--groupName</code>	グループの名前。フォーマット <code>domain\groupname</code> を使用します。
<code>--siteName</code>	ホーム サイトとしてグループに関連付けるサイトの名前。
<code>--entitlementName</code>	(オプション) ホーム サイトに関連付けるグローバル資格の名前。指定したグローバル資格をユーザーが選択すると、ホーム サイトによりユーザー独自のホーム サイトが上書きされます。このオプションを指定しない場合、コマンドはグローバルなグループ ホーム サイトを作成します。

例：

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--createGroupHomeSite --groupName example\adminEastGroup --siteName "Eastern Region"
--entitlementName "Agent Sales"
```

Cloud Pod アーキテクチャ構成をテストする

Cloud Pod アーキテクチャ環境を初期化して構成した後で、環境が適切に設定されていることを確認する特定の手順を実行します。

前提条件

- 最新バージョンの Horizon Client をサポート対象コンピュータまたはモバイル デバイスにインストールします。
- 新規に作成したグローバル資格の 1 つにユーザーの認証情報があることを確認します。

手順

- 1 Horizon Client を開始します。
- 2 新しいグローバル資格のいずれかで、ユーザーの認証情報を使用して、ポッド フェデレーションの任意の View 接続サーバ インスタンスに接続します。

View 接続サーバ インスタンスに接続すると、使用可能なデスクトップおよびアプリケーションのリストにグローバル資格の名前が表示されます。

- 3 グローバル資格を選択し、デスクトップまたはアプリケーションに接続します。

デスクトップまたはアプリケーションが正常に起動しました。グローバル資格、ポッド、デスクトップ プールおよびアプリケーション プールのそれぞれの構成によって、どのデスクトップまたはアプリケーションが起動するかが決まります。Cloud Pod アーキテクチャ機能は、接続しているポッドからデスクトップまたはアプリケーションを割り当てようとします。

次のステップ

View 接続サーバ インスタンスに接続してもグローバル資格が表示されない場合は、View Administrator を使用し、その資格が正常に構成されていることを確認します。グローバル資格が表示されてもデスクトップまたはアプリケーションが起動しない場合は、すべてのデスクトップ プールまたはアプリケーション プールが完全にその他のユーザーに割り当てられている可能性があります。

例：基本的な Cloud Pod アーキテクチャ 構成の設定

この例では、Cloud Pod アーキテクチャ機能を使用して Cloud Pod アーキテクチャ 構成を完了する方法を示します。

この例では、ある健康保険会社が中部と東部の 2 つの地域を行き来する外回りの販売員を抱えています。販売員はモバイル デバイスを使用して顧客に保険契約の見積りを提示し、顧客はデジタル文書を表示して署名します。

販売員はモバイル デバイスに顧客データを保存するのではなく、標準化された View フローティング デスクトップを使用します。顧客データへのアクセスは健康保険会社のデータセンターに安全に保存されています。

健康保険会社には、各地域にデータセンターが 1 つ置かれています。不定期に発生する容量の問題が原因で、販売員は使用可能なデスクトップを自分がいる地域以外のデータセンターで探すことになり、WAN 遅延問題が発生する場合があります。販売員は、デスクトップから切断してセッションをログインしたままにする場合、セッションをホストしているデータセンターを覚えておき、そのデスクトップに再接続する必要があります。

これらの問題を解決するために、健康保険会社は Cloud Pod アーキテクチャ トポロジを設計し、Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化し、既存のポッドをポッド フェデレーションに参加させ、各データセンターにサイトを作成し、販売員にすべてのデスクトップ プールを使用する資格を付与し、単一の View URL を実装します。

手順

1 トポロジ例の設計

保険会社は、地域ごとに 1 つのサイトが含まれる Cloud Pod アーキテクチャ トポロジを設計します。

2 構成例の初期化

Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化するには、View 管理者が East Pod 1 内の View 接続サーバインスタンス用の View Administrator ユーザー インターフェイスにログインし、[View 構成] - [Cloud Pod アーキテクチャ] を選択して[Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化する] をクリックします。

3 構成例でのポッドの参加

View 管理者は View Administrator を使用して Central Pod 1 および Central Pod 2 をポッド フェデレーションに参加させることができます。

4 構成例でのサイトの作成

View 管理者は View Administrator を使用して、東部と中部のデータセンター用のサイトを作成し、それらのサイトにポッドを追加します。

5 構成例でのグローバル デスクトップ資格の作成

View 管理者は View Administrator を使用して、ポッド フェデレーション内のすべてのポッドにわたる販売員用デスクトッププールのすべてのデスクトップに対してすべての販売員に資格を付与する、単一のグローバルデスクトップ資格を作成します。

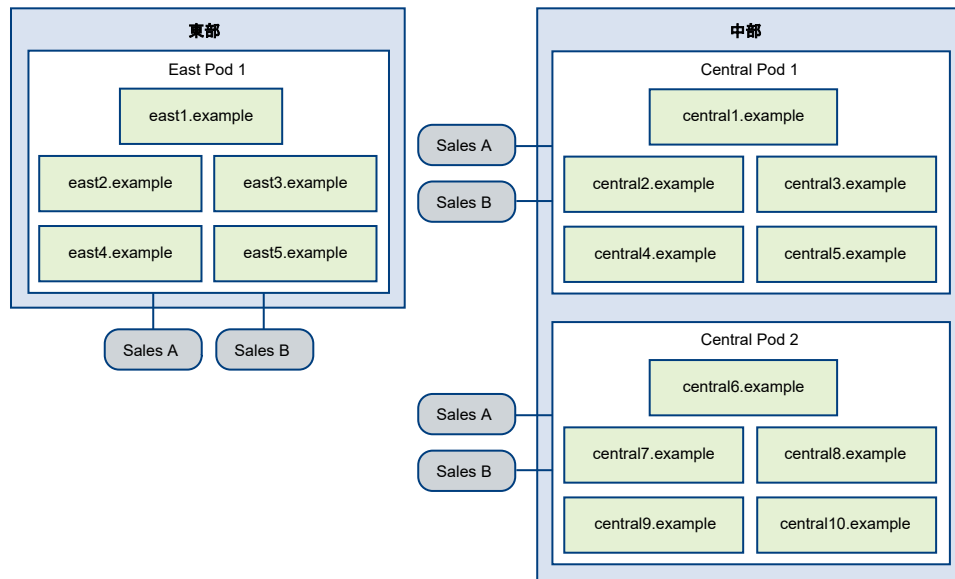
6 構成例の View URL の作成

この保険会社は、単一の View URL を使用しており、DNS サービスを利用して sales.example を最も近いデータセンター内の一番近くにあるポッドに解決します。この方法を使用すると、販売員はポッドごとに異なる複数の URL を記憶する必要がなく、どこにいても常に最も近いデータセンターに向けられます。

トポロジ例の設計

保険会社は、地域ごとに 1 つのサイトが含まれる Cloud Pod アーキテクチャ トポロジを設計します。

図 3-1. Cloud Pod アーキテクチャ トポロジの例



このトポロジでは、東部サイトには `east1.example` ~ `east5.example` という 5 つの View 接続サーバインスタンスから構成される単一ポッドの East Pod 1 が含まれます。

中部サイトには、Central Pod 1 と Central Pod 2 の 2 つのポッドが含まれます。それぞれのポッドは、5 つの View 接続サーバインスタンスを含んでいます。最初のポッドの View 接続サーバは `central1.example` ~ `central5.example` です。2 番目のポッドの View 接続サーバインスタンスは `central6.example` ~ `central10.example` です。

トポロジ内の各ポッドには、販売員用デスクトップの 2 つのデスクトップ プール Sales A と Sales B があります。

構成例の初期化

Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化するには、View 管理者が East Pod 1 内の View 接続サーバインスタンス用の View Administrator ユーザー インターフェイスにログインし、[View 構成] - [Cloud Pod アーキテクチャ] を選択して [Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化する] をクリックします。

View 管理者は East Pod 1 内の View 接続サーバインスタンス用の View Administrator ユーザー インターフェイスを使用するため、ポッド フェデレーションは初期の時点で East Pod 1 を含んでいます。ポッド フェデレーションには、East Pod 1 を含んでいる Default First Site という名前の単一のサイトも含まれています。

構成例でのポッドの参加

View 管理者は View Administrator を使用して Central Pod 1 および Central Pod 2 をポッド フェデレーションに参加させることができます。

- 1 Central Pod 1 を参加させるには、View 管理者が Central Pod 1 内の View 接続サーバインスタンス用の View Administrator ユーザー インターフェイスにログインし、[View 構成] - [Cloud Pod アーキテクチャ] を選択して [ポッド フェデレーションに参加する] をクリックし、East Pod 1 の View 接続サーバインスタンスのホスト名または IP アドレスを提供します。

これで Central Pod 1 はポッド フェデレーションに参加することになります。

- 2 Central Pod 2 を参加させるには、View 管理者が Central Pod 2 内の View 接続サーバ インスタンス用の View Administrator ユーザー インターフェイスにログインし、[View 構成] - [Cloud Pod アーキテクチャ] を選択して [ポッド フェデレーションに参加する] をクリックし、East Pod 1 または Central Pod 1 の View 接続サーバ インスタンスのホスト名または IP アドレスを提供します。

これで Central Pod 2 はポッド フェデレーションに参加することになります。

Central Pod 1 と Central Pod 2 がポッド フェデレーションに参加した後、中部の両方のポッドにわたる 10 個の View 接続サーバ インスタンスすべてが、ポッド フェデレーションの一部になります。

構成例でのサイトの作成

View 管理者は View Administrator を使用して、東部と中部のデータセンター用のサイトを作成し、それらのサイトにポッドを追加します。

- 1 View 管理者はポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 東部のデータセンター用のサイトを作成するには、View 管理者が [View 構成] - [サイト] を選択して [追加] をクリックします。
- 3 中部のデータセンター用のサイトを作成するには、View 管理者が [View 構成] - [サイト] を選択して [追加] をクリックします。
- 4 East Pod 1 を東部データセンターのサイトに移動するには、View 管理者が [View 構成] - [サイト] を選択し、現在 East Pod 1 を含んでいるサイトを選択して East Pod 1 を選択し、[編集] をクリックし、東部のデータセンターのサイトを [サイト] ドロップダウン メニューから選択します。
- 5 Central Pod 1 を中部データセンターのサイトに移動するには、View 管理者が [View 構成] - [サイト] を選択し、現在 Central Pod 1 を含んでいるサイトを選択して Central Pod 1 を選択し、[編集] をクリックし、中部のデータセンターのサイトを [サイト] ドロップダウン メニューから選択します。
- 6 Central Pod 2 を中部データセンターのサイトに移動するには、View 管理者が [View 構成] - [サイト] を選択し、現在 Central Pod 2 を含んでいるサイトを選択して Central Pod 2 を選択し、[編集] をクリックし、中部のデータセンターのサイトを [サイト] ドロップダウン メニューから選択します。

これで、ポッド フェデレーション サイトのトポロジは、保険会社のネットワーク内のポッドの地理的分布を反映するようになります。

構成例でのグローバル デスクトップ資格の作成

View 管理者は View Administrator を使用して、ポッド フェデレーション内のすべてのポッドにわたる販売員用デスクトッププールのすべてのデスクトップに対してすべての販売員に資格を付与する、単一のグローバル デスクトップ資格を作成します。

- 1 ユーザーを作成してグローバル デスクトップ資格に追加するには、View 管理者がポッド フェデレーション内の View 接続サーバ用の View Administrator ユーザー インターフェイスにログインし、[カタログ] - [グローバル 資格] を選択して、[追加] をクリックし、[デスクトップに対する資格] を選択します。

View 管理者は Sales Agent グループをグローバル デスクトップ資格に追加します。Sales Agent グループは、Active Directory で定義され、すべての販売員ユーザーを含みます。Sales Agent グループを Sales Agent グローバル デスクトップ資格に追加すると、販売員は東部と中部のポッドにおける Sales A および Sales B デスクトップ プールにアクセスできるようになります。

- 2 East Pod 1 のデスクトップ プールをグローバル デスクトップ資格に追加するには、View 管理者が East Pod 1 内の View 接続サーバインスタンス用の View Administrator ユーザー インターフェイスにログインし、[カタログ] - [グローバル資格] を選択し、グローバル デスクトップ資格をダブルクリックし、[ローカル プール] タブで [追加] をクリックし、追加するデスクトップ プールを選択して [追加] をクリックします。
- 3 Central Pod 1 のデスクトップ プールをグローバル デスクトップ資格に追加するには、View 管理者が Central Pod 1 内の View 接続サーバインスタンス用の View Administrator ユーザー インターフェイスにログインし、[カタログ] - [グローバル資格] を選択し、グローバル デスクトップ資格をダブルクリックし、[ローカル プール] タブで [追加] をクリックし、追加するデスクトップ プールを選択して [追加] をクリックします。
- 4 Central Pod 2 のデスクトップ プールをグローバル デスクトップ資格に追加するには、View 管理者が Central Pod 2 内の View 接続サーバインスタンス用の View Administrator ユーザー インターフェイスにログインし、[カタログ] - [グローバル資格] を選択し、グローバル デスクトップ資格をダブルクリックし、[ローカル プール] タブで [追加] をクリックし、追加するデスクトップ プールを選択して [追加] をクリックします。

構成例の View URL の作成

この保険会社は、単一の View URL を使用しており、DNS サービスを利用して sales.example を最も近いデータセンター内の一番近くにあるポッドに解決します。この方法を使用すると、販売員はポッドごとに異なる複数の URL を記憶する必要がなく、どこにいても常に最も近いデータセンターに向けられます。

セールス エージェントが Horizon Client 内の View URL に接続すると、使用可能なデスクトップ プールのリストに Agent Sales のグローバル資格が表示されます。販売員がグローバル デスクトップ資格を選択すると、Cloud Pod アーキテクチャ機能によってポッド フェデレーション内の最も近くにある使用可能なデスクトップが提供されます。ローカル データセンター内のすべてのデスクトップが使用中であれば、Cloud Pod アーキテクチャ機能で他のデータセンターからのデスクトップが選択されます。販売員がデスクトップ セッションをログイン状態のままにすると、Cloud Pod アーキテクチャ機能によって販売員がそのデスクトップに戻されます。これは、販売員が別の地域に移動した場合でも同じです。

Cloud Pod アーキテクチャ 環境の管理

4

Cloud Pod アーキテクチャ 環境の表示、変更、維持には、View Administrator および `lmvutil` コマンドを使用します。View Administrator を使用してポッド フェデレーション内のポッドの健全性を監視することもできます。

この章には、次のトピックが含まれています。

- [Cloud Pod アーキテクチャ 構成を表示する](#)
- [View Administrator の View ポッド フェデレーションの健全性](#)
- [ポッド フェデレーションのデスクトップ セッションおよびアプリケーション セッションの表示](#)
- [ユーザーの有効なホーム サイトの特定](#)
- [サイトへのポッドの追加](#)
- [グローバル資格の変更](#)
- [ホーム サイトの関連付けの削除](#)
- [ポッド フェデレーションからポッドを削除する](#)
- [Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化解除](#)

Cloud Pod アーキテクチャ 構成を表示する

View Administrator または `lmvutil` コマンドを使用すると、グローバル資格、ポッド、サイトに関する情報を表示できます。表示に使用できるのは、`lmvutil` コマンドのみです。

この手順では、View Administrator を使用してグローバル資格、ポッド、サイトに関する情報を表示する方法を示します。`lmvutil` コマンドを使用してこの情報を表示するには、「[5 章 lmvutil コマンド リファレンス](#)」を参照してください。

前提条件

`lmvutil` コマンドの認証オプションと要件について理解し、`lmvutil` コマンドを実行するための十分な権限があることを確認します。[lmvutil コマンドでの認証](#)を参照してください。

手順

- ◆ 構成内のすべてのグローバル資格の一覧を表示するには、View Administrator で、[カタログ] - [グローバル資格] を選択します。

ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスを使用できます。

- ◆ グローバル資格内のデスクトップ プールまたはアプリケーション プールの一覧を表示するには、View Administrator で、[カタログ] - [グローバル資格] を選択し、グローバル資格の名前をダブルクリックして [ローカル プール] タブをクリックします。

ローカル ポッド内のプールのみが [ローカル プール] タブに表示されます。グローバル資格でリモート ポッドにデスクトップ プールまたはアプリケーション プールが含まれている場合、これらのプールを確認するには、リモート ポッド内の View 接続サーバ インスタンス用の View Administrator ユーザー インターフェイスにログインする必要があります。

- ◆ グローバル資格内に関連づけられているユーザーまたはグループの一覧を表示するには、View Administrator で、[カタログ] - [グローバル資格] を選択し、グローバル資格の名前をクリックして [ユーザーとグループ] タブをクリックします。

ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスを使用できます。

- ◆ ポッド フェデレーション内のポッドの一覧を表示するには、View Administrator で [View 構成] - [Cloud Pod アーキテクチャ] を選択します。

ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスを使用できます。

- ◆ ポッド フェデレーション内のサイトの一覧を表示するには、View Administrator で [View 構成] - [サイト] を選択します。

ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスを使用できます。

- ◆ ユーザーのホーム サイトを一覧表示するには、`--showUserHomeSites` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

```
lmvutil --showUserHomeSites --userName domain\username [--entitlementName name]
```

オプション	説明
<code>--userName</code>	ホーム サイトを一覧表示するユーザーの名前。フォーマット <code>domain\username</code> を使用します。
<code>--entitlementName</code>	(オプション) グローバル資格の名前。このオプションは、ユーザーのホーム サイトとグローバル資格の組み合わせを一覧表示する場合に使用します。

例 :

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --showUserHomeSites --
userName example\adminEast
```

- ◆ グループのホーム サイトを一覧表示するには、`--showGroupHomeSites` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

```
lmvutil --showGroupHomeSites --groupName domain\groupname [--entitlementName name]
```

オプション	説明
<code>--groupName</code>	ホーム サイトを一覧表示するグループの名前。フォーマット <code>domain\groupname</code> を使用します。
<code>--entitlementName</code>	(オプション) グローバル資格の名前。このオプションは、グループのホーム サイトとグローバル資格の組み合わせを一覧表示する場合に使用します。

例：

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --showGroupHomeSites --
groupName example\adminEastGroup
```

View Administrator の View ポッド フェデレーションの健全性

View は、各ポッドの健全性とポッドの View 接続サーバ インスタンスをチェックすることで、ポッド フェデレーションの健全性を常に監視しています。ポッド フェデレーションの健全性は、View Administrator で表示できます。

ポッド フェデレーションの健全性は、コマンドラインで `vdadmin` コマンドに `-H` オプションを指定して使用し、表示することもできます。`vdadmin` 構文の詳細については、『View でのデスクトップ プールとアプリケーション プールの設定』を参照してください。

重要： View イベント データベースは、ポッド フェデレーション内のポッド間で共有されません。

手順

- 1 ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[インベントリ] - [ダッシュボード] を選択します。

[システムの健全性] ペインの [リモート ポッド] セクションには、すべてのポッド、そのメンバーの View 接続サービス インスタンス、および各 View 接続サーバ インスタンスの既知の健全性ステータスが一覧表示されます。

緑の健全性アイコンは、View 接続サーバ インスタンスがオンラインで、Cloud Pod アーキテクチャ機能で使用できることを示しています。赤色の健全性アイコンは、View 接続サーバ インスタンスがオフラインであるか、Cloud Pod アーキテクチャ機能が View 接続サーバ インスタンスに接続できず、その可用性を確認できないことを示しています。

ポッド フェデレーションのデスクトップ セッションおよびアプリケーション セッションの表示

View Administrator を使用して、ポッド フェデレーションのデスクトップ セッションやアプリケーション セッションを検索および表示することができます。

デスクトップ セッションおよびアプリケーション セッションは、ユーザー、ポッド、または仲介ポッドで検索できます。ユーザーとはデスクトップまたはアプリケーションに接続しているエンド ユーザーのことで、ポッドとはデスクトップまたはアプリケーションがホストされているポッドのことで、仲介ポッドとはデスクトップまたはアプリケーションが最初に割り当てられたときにユーザーが接続していたポッドのことです。

手順

- 1 ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[インベントリ] - [セッションを検索] を選択します。
- 3 検索条件を選択し、検索を開始します。

オプション	アクション
ユーザーで検索	<ol style="list-style-type: none"> ドロップダウン メニューから [ユーザー] を選択します。 テキスト ボックス内をクリックします。 [ユーザーを検索] ダイアログ ボックスで検索条件を選択し、[OK] をクリックします。 [検索] をクリックして検索を開始します。
ポッドで検索	<ol style="list-style-type: none"> ドロップダウン メニューから [ポッド] を選択し、表示されるポッドのリストからポッドを選択します。 [検索] をクリックして検索を開始します。
仲介ポッドで検索	<ol style="list-style-type: none"> ドロップダウン メニューから [仲介ポッド] を選択し、表示されるポッドのリストからポッドを選択します。 [検索] をクリックして検索を開始します。

検索結果には、ユーザー、セッションのタイプ（デスクトップまたはアプリケーション）、マシン、プールまたはファーム、ポッド、仲介ポッド ID、サイト、および各セッションに関連付けられているグローバル資格が含まれます。セッション開始時刻、所要時間、および状態も検索結果に表示されます。

注: 新しいセッションの場合、検索結果で仲介ポッド ID はすぐに表示されません。通常、この ID はセッションが開始してから 2 ～ 3 分の間に View Administrator に表示されます。

ユーザーの有効なホーム サイトの特定

ホーム サイトはユーザーとグループの両方に割り当てることができるため、各ユーザーは複数のホーム サイトを持つことができます。グローバル資格に関連付けられたホーム サイトは、ユーザーとグループに関連付けられたホーム サイトをオーバーライド可能です。このような理由により、特定のユーザーの有効なホーム サイトを特定するのは困難です。ユーザーの有効なホーム サイトは、`lmvutil` コマンドを使用して一覧表示できます。

前提条件

`lmvutil` コマンドの認証オプションと要件について理解し、`lmvutil` コマンドを実行するための十分な権限があることを確認します。[lmvutil コマンドでの認証](#)を参照してください。

手順

- ◆ ポッド フェデレーションの任意の View 接続サーバ インスタンス上で、`--resolveUserHomeSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

```
lmvutil --resolveUserHomeSite --entitlementName name --userName domain\username
```

オプション	説明
<code>--entitlementName</code>	グローバル資格の名前。このオプションでは、ユーザーとグローバル資格の組み合わせに対して有効なホーム サイトを特定できます。グローバル資格は、ユーザーに構成されているホーム サイトごとに異なる可能性があります。
<code>--userName</code>	一覧表示するホーム サイトを持つユーザーの名前。フォーマット <code>domain\username</code> を使用します。

例：

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --resolveUserHomeSite --
userName domainCentral\adminCentral
```

サイトへのポッドの追加

View Administrator を使用して既存のサイトにポッドを追加できます。

手順

- 1 ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[View 構成] - [サイト] を選択します。
- 3 サイトに追加するポッドを現在含んでいるサイトを選択します。
サイト内のポッドの名前が下部ペインに表示されます。
- 4 サイトに追加するポッドを選択して、[編集] をクリックします。
- 5 [サイト] ドロップダウン メニューからサイトを選択し、[OK] をクリックします。

グローバル資格の変更

グローバル資格から、デスクトップ プール、ユーザー、およびグループの追加と削除を行うことができます。また、グローバル資格の削除と、グローバル資格の属性とポリシーも変更できます。

グローバル資格へのプールの追加

View Administrator を使用して、既存のグローバル デスクトップ資格にデスクトップ プールを追加したり、既存のグローバル アプリケーション資格にアプリケーション プールを追加したりできます。個々のプールは、1 つのグローバル資格にのみ追加することができます。

前提条件

グローバル資格に追加するデスクトップ プールまたはアプリケーション プールを作成します。『View でのデスクトップ プールとアプリケーション プールの設定』ドキュメントを参照してください。

手順

- 1 グローバル資格に追加するプールを含むポッド内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[カタログ] - [グローバル資格] を選択します。
- 3 グローバル資格をダブルクリックします。
- 4 [ローカル プール] タブで、[追加] をクリックし、追加するデスクトップ プールまたはアプリケーション プールを選択し、[追加] をクリックします。

Ctrl + Shift キーを押すと、複数のプールを選択できます。

注: グローバル資格にすでに関連付けられている、または選択したグローバル資格ポリシーの基準を満たさないプールは、表示されません。

注: デスクトップ プールがグローバル デスクトップ資格に関連付けられた後で、View 管理者がプールレベルの表示プロトコルまたはプロトコルのオーバーライド ポリシーを変更した場合、ユーザーがグローバル デスクトップ資格を選択するとデスクトップの起動エラーが表示されることがあります。デスクトップ プールがグローバル デスクトップ資格に関連付けられた後で、View 管理者がプールレベルの仮想マシンのリセット ポリシーを変更した場合、ユーザーがデスクトップをリセットしようとする、エラーが表示されることがあります。

グローバル資格からのプールの削除

View Administrator を使用してグローバル資格からプールを削除できます。

手順

- 1 削除するプールを含むポッド内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[カタログ] - [グローバル資格] を選択します。
- 3 [ローカル プール] タブで、グローバル資格から削除するプールを選択して [削除] をクリックします。

ユーザーまたはグループのグローバル資格への追加

View Administrator を使用して既存のグローバル資格にユーザーまたはグループを追加できます。

手順

- 1 ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[カタログ] - [グローバル資格] を選択し、グローバル資格をダブルクリックします。
- 3 [ユーザーとグループ] タブで、[追加] をクリックします。

- 4 [追加] をクリックして、1 つ以上の検索条件を選択し、[検索] をクリックして検索条件に基づいて Active Directory ユーザーまたはグループをフィルタ処理します。
- 5 グローバル資格に追加する Active Directory ユーザーまたはグループを選択して、[OK] をクリックします。
<Ctrl> + <Shift> キーを押すと、複数のユーザーやグループを選択できます。

グローバル資格からのユーザーまたはグループの削除

View Administrator を使用してグローバル資格からユーザーまたはグループを削除できます。

手順

- 1 ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[カタログ] - [グローバル資格] を選択し、グローバル資格をダブルクリックします。
- 3 [ユーザーとグループ] タブで、削除するユーザーまたはグループを選択して [削除] をクリックします。
Ctrl または Shift キーを押すと、複数のユーザーやグループを選択できます。
- 4 確認のダイアログ ボックスで、[はい] をクリックします。

グローバル資格の属性またはポリシーの変更

View Administrator を使用して、グローバル資格の名前と説明の属性や、範囲その他のポリシーを変更することができます。

注: グローバル デスクトップ資格に含めることができるデスクトップ プールのタイプは変更できません。

手順

- 1 ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[カタログ] - [グローバル資格] を選択します。
- 3 グローバル資格を選択し、[編集] をクリックします。
- 4 グローバル資格の名前または説明を変更するには、新しい名前または説明を [全般] ペインの [名前] または [説明] テキスト ボックスに入力します。

名前には 1 文字から 64 文字が使用できます。説明には 1 文字から 1024 文字が使用できます。

5 グローバル資格ポリシーを変更するには、[ポリシー] ペインでポリシーを選択または選択解除します。

ポリシー	説明
範囲	<p>グローバル資格からのデスクトップまたはアプリケーション要求を満たすデスクトップまたはアプリケーションを探す場所を指定します。選択できる範囲ポリシーは 1 つのみです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [すべてのサイト] - ポッド フェデレーションの任意のポッドで View がデスクトップまたはアプリケーションを探します。 ■ [サイト内] - ユーザーが接続しているポッドと同じサイト内のポッドでのみ View がデスクトップまたはアプリケーションを探します。 ■ [ポッド内] - ユーザーが接続しているポッドでのみ View がデスクトップまたはアプリケーションを探します。
ホーム サイトを使用する	View によってユーザーのホーム サイト内のデスクトップまたはアプリケーションが検索されるようになります。ユーザーにホーム サイトがなく、[資格のあるユーザーにはホーム サイトが必要である] オプションが選択されていない場合、ユーザーが現在接続しているサイトがホーム サイトと見なされます。
資格のあるユーザーにはホーム サイトが必要である	ユーザーにホーム サイトがある場合のみグローバル資格が使用可能になります。このオプションは、[ホーム サイトを使用する] オプションが選択されている場合のみ利用可能です。
冗長セッションを自動的にクリーンアップする	<p>同じ資格の余剰ユーザー セッションをログオフします。このオプションは、流動デスクトップ資格およびアプリケーション資格でのみ利用可能です。</p> <p>複数のセッションは、セッションを含むポッドがオフラインになり、ユーザーが再度ログインして別のセッションを開始し、問題のポッドが元のセッションでオンラインに戻るときに発生する可能性があります。複数のセッションが発生すると、セッションを選択するように指示するメッセージが Horizon Client によって表示されます。このオプションは、ユーザーが選択しないセッションに何が発生するかを決定します。このオプションを選択しない場合、ユーザーは Horizon Client でログオフするか、セッションを起動してログオフして、自身の余剰セッションを手動で終了する必要があります。</p>
デフォルト表示プロトコル	(グローバル デスクトップ資格のみ) グローバル デスクトップ資格におけるデスクトップのデフォルト表示プロトコルを指定します。
HTML Access	グローバル資格でユーザーが HTML Access 機能を使用してデスクトップまたはアプリケーションにアクセスできるかどうかを選択します。HTML Access を使用すると、エンド ユーザーは Web ブラウザを使用してリモート デスクトップに接続できるため、ローカル システムにクライアント ソフトウェアをインストールする必要がありません。

6 グローバルアプリケーション資格のアプリケーションのパス、バージョン、パブリッシュ情報を変更するには、アプリケーションのテキスト ボックスに値を入力します。

注: これらの値を変更した後にアプリケーション プールをグローバル アプリケーション資格に追加すると、値がアプリケーション プールの値で上書きされます。

7 [OK] をクリックして変更を保存します。

グローバル資格の削除

View Administrator を使用して、グローバル資格を完全に削除することができます。グローバル資格を削除すると、デスクトップのグローバル資格に従属するすべてのユーザーはそのデスクトップにアクセスできなくなります。既存のデスクトップ セッションは接続状態が維持されます。

手順

- 1 ポッド フェデレーション内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[カタログ]-[グローバル資格] を選択します。
- 3 削除するグローバル資格をクリックして、[削除] をクリックします。
- 4 確認のダイアログ ボックスで、[はい] をクリックします。

ホーム サイトの関連付けの削除

ユーザーまたはグループとホーム サイト間の関連付けは、`lmvutil` コマンドを使用して削除できます。指定したユーザーまたはグループのホーム サイトとグローバル資格間の関連付けも削除できます。

前提条件

`lmvutil` コマンドの認証オプションと要件について理解し、`lmvutil` コマンドを実行するための十分な権限があることを確認します。[lmvutil コマンドでの認証](#)を参照してください。

手順

- ◆ ホーム サイトとユーザー間の関連付けを削除するには、`--deleteUserHomeSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

このコマンドは、ポッド フェデレーション内のどの View 接続サーバ インスタンスでも実行できます。

```
lmvutil --deleteUserHomeSite --userName domain\username [--entitlementName name]
```

オプション	説明
<code>--userName</code>	ユーザーの名前。フォーマット <code>domain\username</code> を使用します。
<code>--entitlementName</code>	(オプション) グローバル資格の名前。このオプションは、指定したユーザーのホーム サイトとグローバル資格間の関連付けを削除する場合に使用します。

例：

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --deleteUserHomeSite --
userName domainCentral\adminCentral
```

- ◆ ホーム サイトとグループ間の関連付けを削除するには、`--deleteGroupHomeSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

このコマンドは、ポッド フェデレーション内のどの View 接続サーバ インスタンスでも実行できます。

```
lmvutil --deleteGroupHomeSite --groupName domain\groupname [--entitlementName name]
```

オプション	説明
<code>--groupName</code>	グループの名前。フォーマット <code>domain\groupname</code> を使用します。
<code>--entitlementName</code>	(オプション) グローバル資格の名前。このオプションは、指定したグループのホーム サイトとグローバル資格間の関連付けを削除する場合に使用します。

例：

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --deleteGroupHomeSite --
groupName domainCentral\adminCentralGroup
```

ポッド フェデレーションからポッドを削除する

View Administrator を使用し、以前にポッド フェデレーションに参加させたポッドを削除することができます。ポッドが別の目的で再コミッションされている場合や、誤って構成されていた場合は、そのポッドをポッド フェデレーションから削除できます。

ポッド フェデレーションの最後のポッドを削除するには、Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化解除します。[Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化解除](#)を参照してください。

重要： View 接続サーバをポッド フェデレーションから削除している間は、View 接続サーバ インスタンスの停止または起動を行わないでください。View 接続サーバ サービスが正しく再起動しない可能性があります。

手順

- 1 ポッド フェデレーションから削除するポッド内の View 接続サーバ インスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[Cloud Pod アーキテクチャ] を選択し、[ポッド フェデレーション] ペインで[離脱]をクリックします。
- 3 [OK] をクリックして離脱操作を開始します。
View Administrator は離脱操作の進行状況を示します。
- 4 View Administrator がクライアントの再ロードを求めるメッセージを表示したら、[OK] をクリックします。
View Administrator ユーザー インターフェイスが更新されると、View Administrator のインベントリ パネルで [グローバル資格] が [カタログ] の下に表示されなくなり、[サイト] が [View 構成] の下に表示されなくなります。

Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化解除

View Administrator を使用して Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化解除できます。

前提条件

Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化解除は、ポッド フェデレーション内の 1 つのポッドでのみ実行する必要があります。ポッド フェデレーションに複数のポッドが含まれる場合、初期化解除プロセスを開始する前に他のポッドを離脱させる必要があります。[ポッド フェデレーションからポッドを削除する](#)を参照してください。

手順

- 1 ポッド内の View 接続サービンスタンスの View Administrator ユーザー インターフェイスにログインします。
- 2 View Administrator で、[View 構成] - [Cloud Pod アーキテクチャ] を選択します。
- 3 [ポッド フェデレーション] ペインで、[初期化解除] をクリックします。
- 4 [OK] をクリックして初期化解除プロセスを開始します。

初期化解除プロセスが終了すると、サイト、ホーム サイト、グローバル資格などを含む Cloud Pod アーキテクチャ の構成全体が削除されています。

- 5 View Administrator がクライアントの再ロードを求めるメッセージを表示したら、[OK] をクリックします。

View Administrator ユーザー インターフェイスが更新されると、View Administrator のインベントリ パネルで [グローバル資格] が [カタログ] の下に表示されなくなり、[サイト] が [View 構成] の下に表示されなくなります。

lvmutil コマンド リファレンス

Cloud Pod アーキテクチャ 実装を構成して管理するには、lvmutil コマンド ライン インターフェイスを使用します。

注: vdmutil コマンド ライン インターフェイスを使用して lvmutil と同じ操作を実行します。

この章には、次のトピックが含まれています。

- lvmutil コマンドの使用
- Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化
- Cloud Pod アーキテクチャ機能の無効化
- ポッド フェデレーションの管理
- サイトの管理
- グローバル資格の管理
- ホーム サイトの管理
- Cloud Pod アーキテクチャ構成の表示
- SSL 証明書の管理

lvmutil コマンドの使用

lvmutil コマンドの構文によって、コマンドの動作が制御されます。

Windows コマンド プロンプトで、次の形式の lvmutil コマンドを使用します。

```
lvmutil command_option [additional_option argument] ...
```

または、vdmutil コマンドを使用して lvmutil コマンドと同じ操作を実行できます。Windows コマンド プロンプトで、次の形式の vdmutil コマンドを使用します。

```
vdmutil command_option [additional_option argument] ...
```

使用できる追加のオプションは、コマンド オプションによって異なります。

デフォルトの場合、lvmutil および vdmutil コマンドの実行可能ファイルのパスは C:\Program Files\VMware\VMware View\Server\tools\bin です。コマンド ラインにパスを入力するのを避けるには、PATH 環境変数にパスを追加します。

lmvutil コマンドでの認証

lmvutil コマンドを使用して Cloud Pod アーキテクチャ環境を構成し、管理するには、Administrators ロールを持つユーザーとしてこのコマンドを実行する必要があります。

View Administrator を使用して Administrators ロールをユーザーに割り当てることができます。『View 管理』ドキュメントを参照してください。

lmvutil コマンドには、認証に使用するユーザー名、ドメイン、およびパスワードを指定するオプションがあります。

表 5-1. lmvutil コマンドの認証オプション

オプション	説明
--authAs	View 管理ユーザーの名前。domain\username またはユーザー プリンシパル名 (UPN) 形式を使用しないでください。
--authDomain	View オプションで指定された --authAs 管理者ユーザーの完全修飾ドメイン名。
--authPassword	--authAs オプションで指定された View 管理者ユーザーのパスワード。パスワードの代わりに "*" を入力すると、lmvutil コマンドでパスワードが要求され、機密性の高いパスワードはコマンドラインのコマンド履歴に残りません。

たとえば、次に示す lmvutil コマンドは、domainEast\adminEast ユーザーにログインして、Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化します。

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --initialize
```

認証オプションは、--help および --verbose を除くすべての lmvutil コマンド オプションを指定して使用する必要があります。

lmvutil コマンドの出力

lmvutil コマンドは、操作が成功すると 0 を返し、失敗すると操作の失敗に固有の 0 以外のコードを返します。

lmvutil コマンドは標準エラー出力にエラー メッセージを書き込みます。操作で出力が生成されたり、--verbose オプションを使用して詳細なログ記録が有効になっていると、lmvutil コマンドは標準出力に出力を書き込みます。

lmvutil コマンドは英語 (US) の出力のみを生成します。

lmvutil コマンドのオプション

実行する操作を指定するには、lmvutil コマンドのコマンド オプションを使用します。どのオプションも 2 つのハイフン (--) の後に指定します。

lmvutil コマンドの認証オプションについては、[lmvutil コマンドでの認証](#)を参照してください。

表 5-2. lmvutil コマンドのオプション

オプション	説明
--activatePendingCertificate	保留中の SSL 証明書をアクティベーションします。 保留中の証明書のアクティベーション を参照してください。
--addGroupEntitlement	ユーザー グループをグローバル資格に関連付けます。 グローバル資格へのユーザーまたはグループの追加 を参照してください。
--addPoolAssociation	グローバル デスクトップ資格にデスクトップ プールに関連付けたり、グローバル アプリケーション資格にアプリケーション プールに関連付けたりします。 グローバル資格へのプールの追加 を参照してください。
--addUserEntitlement	ユーザーをグローバル資格に関連付けます。 グローバル資格へのユーザーまたはグループの追加 を参照してください。
--assignPodToSite	ポッドをサイトに割り当てます。 サイトへのポッドの割り当て を参照してください。
--createGlobalApplicationEntitlement	グローバル アプリケーション資格を作成します。 グローバル資格の作成 を参照してください。
--createGlobalEntitlement	グローバル デスクトップ資格を作成します。 グローバル資格の作成 を参照してください。
--createSite	サイトを作成します。 サイトの作成 を参照してください。
--createGroupHomeSite	ユーザー グループをホーム サイトに関連付けます。 ホーム サイトの構成 を参照してください。
--createPendingCertificate	保留された SSL 証明書を作成します。 保留中の証明書の作成 を参照してください。
--createUserHomeSite	ユーザーをホーム サイトに関連付けます。 ホーム サイトの構成 を参照してください。
--deleteGlobalApplicationEntitlement	グローバル アプリケーション資格を削除します。 グローバル資格の削除 を参照してください。
--deleteGlobalEntitlement	グローバル デスクトップ資格を削除します。 グローバル資格の削除 を参照してください。
--deleteSite	サイトを削除します。 サイトの削除 を参照してください。
--deleteGroupHomeSite	ユーザー グループとホーム サイト間の関連付けを削除します。 ホーム サイトの削除 を参照してください。
--deleteUserHomeSite	ユーザーとホーム サイト間の関連付けを削除します。 ホーム サイトの削除 を参照してください。
--editSite	サイトの名前または説明を変更します。 サイト名前または説明の変更 を参照してください。
--ejectPod	ポッド フェデレーションから使用不可能なポッドを削除します。 ポッド フェデレーションからのポッドの削除 を参照してください。
--help	lmvutil コマンドのオプションを一覧表示します。
--initialize	Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化します。 Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化 を参照してください。
--join	ポッドをポッド フェデレーションに参加させます。 ポッド フェデレーションへのポッドの参加 を参照してください。

オプション	説明
--listAssociatedPools	グローバル デスクトップ資格に関連付けられているデスクトップ プールまたはグローバル アプリケーション資格に関連付けられているアプリケーション プールを一覧表示します。 グローバル資格のプールの一覧表示 を参照してください。
--listEntitlements	ユーザーまたはユーザー グループとグローバル資格間の関連付けを一覧表示します。 グローバル資格のユーザーまたはグループの一覧表示
--listGlobalApplicationEntitlements	すべてのグローバル アプリケーション資格を一覧表示します。 グローバル資格の一覧表示 を参照してください。
--listGlobalEntitlements	すべてのグローバル デスクトップ資格を一覧表示します。 グローバル資格の一覧表示 を参照してください。
--listPods	Cloud Pod アーキテクチャ トポロジのポッドを一覧表示します。 Cloud Pod アーキテクチャ トポロジでのポッドまたはサイトの一覧表示 を参照してください。
--listSites	Cloud Pod アーキテクチャ トポロジのサイトを一覧表示します。 Cloud Pod アーキテクチャ トポロジでのポッドまたはサイトの一覧表示 を参照してください。
--listUserAssignments	ユーザー専用のデスクトップ ポッドの割り当てとグローバル資格の組み合わせを一覧表示します。 デスクトップ プールの専用割り当ての一覧表示 を参照してください。
--removePoolAssociation	デスクトップ プールとグローバル資格間の関連付けを削除します。 グローバル資格からのプールの削除 を参照してください。
--resolveUserHomeSite	ユーザーの有効なホーム サイトを表示します。 ユーザーの有効なホーム サイトの一覧表示 を参照してください。
--removeGroupEntitlement	グローバル資格からユーザー グループを削除します。 グローバル資格からのユーザーまたはグループの削除 を参照してください。
--removeUserEntitlement	グローバル資格からユーザーを削除します。 グローバル資格からのユーザーまたはグループの削除 を参照してください。
--showGroupHomeSites	グループのホーム サイトをすべて表示します。 ユーザーまたはグループのホーム サイトの一覧表示 を参照してください。
--showUserHomeSites	ユーザーのホーム サイトをすべて表示します。 ユーザーまたはグループのホーム サイトの一覧表示 を参照してください。
--uninitialize	Cloud Pod アーキテクチャ機能を無効にします。 Cloud Pod アーキテクチャ機能の無効化 を参照してください。
--unjoin	ポッド フェデレーションから使用可能なポッドを削除します。 ポッド フェデレーションからのポッドの削除 を参照してください。
--updateGlobalApplicationEntitlement	グローバル アプリケーション資格を変更します。 グローバル資格の変更 を参照してください。
--updateGlobalEntitlement	グローバル デスクトップ資格を変更します。 グローバル資格の変更 を参照してください。

オプション	説明
<code>--updatePod</code>	ポッドの名前または説明を変更します。 ポッド名または説明の変更 を参照してください。
<code>--verbose</code>	詳細ログを有効にします。このオプションは、詳細なコマンド出力を取得する他のオプションに追加できます。 <code>lmvutil</code> コマンドで、標準出力への書き込みが行われます。

Cloud Pod アーキテクチャ機能の初期化

Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化するには `--initialize` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。Cloud Pod アーキテクチャ機能を初期化するとき、View はポッドの各 View 接続サーバインスタンスでグローバル データ レイヤを設定して、VIPA 通信チャンネルを構成します。

構文

```
lmvutil --initialize
```

使用上の注意

このコマンドは、ポッド内のいずれかの View 接続サーバ インスタンスで 1 回のみ実行します。このコマンドは、ポッド内のどの View 接続サーバ インスタンスでも実行できます。追加のポッドに対してこのコマンドを実行する必要はありません。他のすべてのポッドは初期化されたポッドに参加します。

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能がすでに初期化されている場合、またはコマンドが操作を完了できない場合に、エラー メッセージを返します。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --initialize
```

Cloud Pod アーキテクチャ機能の無効化

Cloud Pod アーキテクチャ機能を無効にするには `--uninitialize` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --uninitialize
```

使用上の注意

このコマンドを実行する前に、`--unjoin` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行し、ポッド フェデレーションの他のポッドを削除します。

このコマンドは、ポッド内の 1 つの View 接続サーバ インスタンスに対してのみ実行します。このコマンドは、ポッド内のどの View 接続サーバ インスタンスでも実行できます。ポッド フェデレーションに複数のポッドが含まれる場合、1 つのポッドに対してのみこのコマンドを実行する必要があります。

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されない場合、コマンドがポッドを検出または更新できない場合、またはポッド フェデレーションが他のポッドを含んでいる場合に、エラー メッセージを返します。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --uninitialize
```

ポッド フェデレーションの管理

ポッド フェデレーションの構成と変更には、lmvutil コマンドのオプションを使用できます。

■ ポッド フェデレーションへのポッドの参加

ポッドをポッド フェデレーションに参加させるには `--join` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ ポッド フェデレーションからのポッドの削除

ポッド フェデレーションからポッドを削除するには、`--unjoin` または `--ejectPod` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ ポッド名または説明の変更

ポッドの名前または説明は、`--updatePod` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行することによって更新または変更できます。

ポッド フェデレーションへのポッドの参加

ポッドをポッド フェデレーションに参加させるには `--join` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --join joinServer serveraddress --userName domain\username --password password
```

使用上の注意

このコマンドは、ポッド フェデレーションに参加させるポッドごとに実行する必要があります。このコマンドは、ポッド内のどの View 接続サーバ インスタンスでも実行できます。

このコマンドは、無効な認証情報を入力した場合、指定した View 接続サーバ インスタンスが存在しない場合、ポッド フェデレーションが指定したサーバに存在しない場合、またはコマンドが操作を完了できない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

ポッドをポッド フェデレーションに参加させるときは、次のいくつかのオプションを指定する必要があります。

表 5-3. ポッドをポッド フェデレーションに参加させるオプション

オプション	説明
--joinServer	初期化された任意のポッド、またはすでにポッド フェデレーションの一部になっている任意のポッドでの、任意の View 接続サーバインスタンスの DNS 名または IP アドレス。
--userName	すでに初期化されたポッドの View 管理者ユーザー名。フォーマット <i>domain\username</i> を使用します。
--password	--userName オプションで指定されたユーザーのパスワード。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --join
--joinServer 123.456.789.1 --userName domainCentral\adminCentral --password secret123
```

ポッド フェデレーションからのポッドの削除

ポッド フェデレーションからポッドを削除するには、--unjoin または --ejectPod オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --unjoin
```

```
lmvutil --ejectPod --pod pod
```

使用上の注意

ポッド フェデレーションからポッドを削除するには、--unjoin オプションを使用します。このコマンドは、ポッド内のどの View 接続サーバインスタンスでも実行できます。

使用できないポッドをポッド フェデレーションから削除するには、--ejectPod オプションを使用します。ポッドが使用できなくなるのは、たとえば、ハードウェアの障害が発生したときです。この操作はポッド フェデレーション内のどのポッドでも実行できます。

重要: ほとんどの状況では、--unjoin オプションを使用することによってポッド フェデレーションからポッドを削除することをお勧めします。

これらのコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、ポッドがポッド フェデレーションに参加していない場合、またはコマンドが指定した操作を実行できない場合にエラー メッセージを返します。

オプション

--ejectPod オプションを使用する場合は、--pod オプションを使用して、ポッド フェデレーションから削除するポッドを特定します。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --unjoin
```

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --ejectPod
--pod "East Pod 1"
```

ポッド名または説明の変更

ポッドの名前または説明は、`--updatePod` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行することによって更新または変更できます。

構文

```
lmvutil --updatePod --podName podname [--newPodName podname] [--description text]
```

使用上の注意

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、またはコマンドがポッドを検出または更新できない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

ポッドの名前または説明を更新するときには、これらのオプションを指定できます。

表 5-4. ポッドの名前または説明を構成するためのオプション

オプション	説明
<code>--podName</code>	更新するポッドの名前。
<code>--newPodName</code>	(オプション) ポッドの新しい名前。ポッド名には 1 文字から 64 文字が使用できます。
<code>--description</code>	(オプション) サイトの説明。説明には 1 文字から 1024 文字が使用できます。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--updatePod --podName "East Pod 1" --newPodName "East Pod 2"
```

サイトの管理

`lmvutil` コマンド オプションを使用して、Cloud Pod アーキテクチャ サイトを作成、変更および削除できます。サイトとは View ポッドのグループです。

■ サイトの作成

Cloud Pod アーキテクチャ トポロジ内にサイトを作成するには `--createSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ サイトへのポッドの割り当て

サイトにポッドを割り当てるには `--assignPodToSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ サイト名前または説明の変更

サイトの名前または説明を編集するには `--editSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ サイトの削除

サイトを削除するには `--deleteSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

サイトの作成

Cloud Pod アーキテクチャ トポロジ内にサイトを作成するには `--createSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --createSite --siteName sitename [--description text]
```

使用上の注意

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、指定したサイトがすでに存在する場合、またはサイトを作成できない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

サイトを作成するときには、これらのオプションを指定できます。

表 5-5. サイトを作成するためのオプション

オプション	説明
<code>--siteName</code>	新しいサイトの名前。サイト名には 1 文字から 64 文字が使用できます。
<code>--description</code>	(オプション) サイトの説明。説明には 1 文字から 1024 文字が使用できます。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --createSite
--siteName "Eastern Region"
```

サイトへのポッドの割り当て

サイトにポッドを割り当てるには `--assignPodToSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --assignPodToSite --podName podname --siteName sitename
```


使用上の注意

サイトにポッドを割り当てるためには、まずサイトを作成する必要があります。[サイトの作成](#)を参照してください。

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、指定されたポッドまたはサイトが見つからない場合、またはサイトにポッドを割り当てることができない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

サイトにポッドを割り当てるときには、これらのオプションを指定する必要があります。

表 5-6. サイトにポッドを割り当てるためのオプション

オプション	説明
--podName	サイトに割り当てるポッドの名前。
--siteName	サイトの名前。

Cloud Pod アーキテクチャ トポロジ内のポッドの名前は、--listPods オプションを指定して lmvutil コマンドを実行することによって一覧表示できます。[Cloud Pod アーキテクチャ トポロジでのポッドまたはサイトの一覧表示](#)を参照してください。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--assignPodToSite --podName "East Pod 1" --siteName "Eastern Region"
```

サイト名前または説明の変更

サイトの名前または説明を編集するには --editSite オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --editSite --siteName sitename [--newSiteName sitename] [--description text]
```

使用上の注意

このコマンドは、指定したサイトが存在しない場合、またはコマンドでサイトを検索したり更新したりできない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

サイトの名前または説明を変更するときには、これらのオプションを指定できます。

表 5-7. サイトの名前または説明を変更するためのオプション

オプション	説明
--siteName	編集するサイトの名前。
--newSiteName	(オプション) サイトの新しい名前。サイト名には 1 文字から 64 文字が使用できます。
--description	(オプション) サイトの説明。説明には 1 文字から 1024 文字が使用できます。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --editSite
--siteName "Eastern Region" --newSiteName "Western Region"
```

サイトの削除

サイトを削除するには `--deleteSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --deleteSite --sitename sitename
```

使用上の注意

このコマンドは、指定したサイトが存在しない場合、またはコマンドでサイトを検出したり削除したりできない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

削除するサイトの名前を指定するには、`--sitename` オプションを使用します。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--deleteSite --sitename "Eastern Region"
```

グローバル資格の管理

`lmvutil` コマンド オプションを使用して、Cloud Pod アーキテクチャ環境のグローバル デスクトップ資格およびグローバル アプリケーション資格を作成、変更、一覧表示することができます。

■ グローバル資格の作成

グローバル デスクトップ資格を作成するには、`--createGlobalEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。グローバル アプリケーション資格を作成するには、`--createGlobalApplicationEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ グローバル資格の変更

グローバル デスクトップ資格を変更するには、`--updateGlobalEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。グローバル アプリケーション資格を変更するには、`--updateGlobalApplicationEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ グローバル資格の削除

グローバル デスクトップ資格を削除するには、`--deleteGlobalEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。グローバル アプリケーション資格を削除するには、`--deleteGlobalApplicationEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ グローバル資格へのプールの追加

グローバル デスクトップ資格にデスクトップ プールを追加したり、グローバル アプリケーション資格にアプリケーション プールを追加したりするには、`--addPoolAssociation` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ グローバル資格からのプールの削除

グローバル デスクトップ資格からデスクトップ プールを削除したり、グローバル アプリケーション資格からアプリケーション プールを削除したりするには、`--removePoolAssociation` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ グローバル資格へのユーザーまたはグループの追加

ユーザーをグローバル資格に追加するには、`--addUserEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。グループをグローバル資格に追加するには、`--addGroupEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ グローバル資格からのユーザーまたはグループの削除

ユーザーをグローバル資格から削除するには、`--removeUserEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。グループをグローバル資格から削除するには、`--removeGroupEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

グローバル資格の作成

グローバル デスクトップ資格を作成するには、`--createGlobalEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。グローバル アプリケーション資格を作成するには、`--createGlobalApplicationEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

グローバル資格では、デスクトップおよびアプリケーションがポッド フェデレーションのどこにあるかにかかわらず、ユーザーとそのデスクトップおよびアプリケーション間のリンクを提供します。また、グローバル資格には、Cloud Pod アーキテクチャ機能がデスクトップおよびアプリケーションを資格のあるユーザーに割り当てる方法を決定するポリシーも含まれます。

構文

```
lmvutil --createGlobalEntitlement --entitlementName name --scope scope
{--isDedicated | --isFloating} [--description text] [--disabled]
[--fromHome] [--multipleSessionAutoClean] [--requireHomeSite] [--defaultProtocol value]
[--htmlAccess]
```

```
lmvutil --createGlobalApplicationEntitlement --entitlementName name --scope scope
[--description text] [--disabled] [--fromHome] [--multipleSessionAutoClean]
[--requireHomeSite] [--htmlAccess]
```

使用上の注意

これらのコマンドは、ポッド フェデレーションにあるどの View 接続サーバ インスタンスでも使用できます。View は、新しいデータをグローバル データ レイヤに格納し、ポッド フェデレーション内のすべてのポッドでそのデータを複製します。

これらのコマンドは、グローバル資格がすでに存在する場合、範囲が無効な場合、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、またはグローバル資格を作成できない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

グローバル資格を作成するときには、これらのオプションを指定できます。一部のオプションは、グローバル デスクトップ資格にのみ適用されます。

表 5-8. グローバル資格作成時のオプション

オプション	説明
<code>--entitlementName</code>	グローバル資格の名前。名前には 1 文字から 64 文字が使用できます。グローバル資格の名前は、資格のあるユーザーの Horizon Client のデスクトップおよびアプリケーション リストに表示されます。
<code>--scope</code>	グローバル資格の範囲。有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ■ ANY。ポッド フェデレーションの任意のポッドで View がリソースを探します。 ■ SITE。ユーザーが接続しているポッドと同じサイト内のポッドでのみ View がリソースを探します。 ■ LOCAL。ユーザーが接続しているポッドでのみ View がリソースを探します。
<code>--isDedicated</code>	専用デスクトップ資格を作成します。専用デスクトップ資格には専用デスクトップ プールのみを含めることができます。流動デスクトップ資格を作成するには、 <code>--isFloating</code> オプションを使用します。グローバル デスクトップ資格は、専用または流動のいずれかになります。 <code>--isDedicated</code> オプションを <code>--multipleSessionAutoClean</code> オプションと一緒に指定することはできません。 グローバル デスクトップ資格にのみ適用されます。
<code>--isFloating</code>	流動デスクトップ資格を作成します。流動デスクトップ資格には流動デスクトップ プールのみを含めることができます。専用デスクトップ資格を作成するには、 <code>--isDedicated</code> オプションを指定します。グローバル デスクトップ資格は、流動または専用のいずれかになります。 グローバル デスクトップ資格にのみ適用されます。
<code>--disabled</code>	(オプション) グローバル資格を無効な状態で作成します。
<code>--description</code>	(オプション) グローバル資格の説明。説明には 1 文字から 1024 文字が使用できます。
<code>--fromHome</code>	(オプション) ユーザーにホーム サイトがある場合、ユーザーのホーム サイトで View がリソースを探すようになります。ユーザーにホーム サイトがない場合、ユーザーが現在接続しているサイトで View がリソースを探し始めます。
<code>--multipleSessionAutoClean</code>	(オプション) 同じ資格の余剰ユーザー セッションをログオフします。複数のセッションは、セッションを含むポッドがオフラインになり、ユーザーが再度ログインして別のセッションを開始し、問題のポッドが元のセッションでオンラインに戻るときに発生する可能性があります。 複数のセッションが発生すると、セッションを選択するように指示するメッセージが Horizon Client によって表示されます。このオプションは、ユーザーが選択しないセッションに何が発生するかを決定します。 このオプションを指定しない場合、ユーザーは Horizon Client でログオフするか、セッションを起動してログオフして、自身の余剰セッションを手動で終了する必要があります。
<code>--requireHomeSite</code>	(オプション) ユーザーにホーム サイトがある場合のみグローバル資格が使用可能になります。このオプションは <code>--fromHome</code> オプションも指定されたときのみ適用可能です。

オプション	説明
<code>--defaultProtocol</code>	(オプション) グローバル デスクトップ資格におけるデスクトップのデフォルト表示プロトコル。有効な値は RDP および PCOIP です。 グローバル デスクトップ資格にのみ適用されます。
<code>--htmlAccess</code>	(オプション) このオプションを指定すると、ユーザーはグローバル資格で HTML Access 機能を使用してリソースにアクセスできます。HTML Access を使用すると、エンド ユーザーは Web ブラウザを使用してリモート リソースにアクセスできるため、ローカル システムにクライアント ソフトウェアをインストールする必要がありません。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --createGlobalEntitlement --entitlementName "Windows 8 Desktop" --scope LOCAL --isDedicated
```

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --createGlobalApplicationEntitlement --entitlementName "Microsoft Office PowerPoint" --scope LOCAL
```

グローバル資格の変更

グローバル デスクトップ資格を変更するには、`--updateGlobalEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。グローバル アプリケーション資格を変更するには、`--updateGlobalApplicationEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --updateGlobalEntitlement --entitlementName name [--scope scope] [--description text]
[--disabled] [--enabled] [--fromHome] [--disableFromHome] [--multipleSessionAutoClean]
[--disableMultipleSessionAutoClean] [--requireHomeSite] [--disableRequireHomeSite]
[--defaultProtocol value] [--htmlAccess] [--disableHtmlAccess]
```

```
lmvutil --updateGlobalApplicationEntitlement --entitlementName name [--scope scope]
[--description text] [--disabled] [--enabled] [--fromHome] [--disableFromHome]
[--multipleSessionAutoClean] [--disableMultipleSessionAutoClean] [--requireHomeSite]
[--disableRequireHomeSite] [--htmlAccess] [--disableHtmlAccess] [--appVersion value]
[--appPublisher value] [--appPath value]
```

使用上の注意

これらのコマンドは、ポッド フェデレーションにあるどの View 接続サーバ インスタンスでも使用できます。View は、新しいデータをグローバル データ レイヤに格納し、ポッド フェデレーション内のすべてのポッドでそのデータを複製します。

これらのコマンドは、グローバル資格が存在しない場合、範囲が無効な場合、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、またはグローバル資格を更新できない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

グローバル資格を変更するときには、これらのオプションを指定できます。一部のオプションは、グローバル デスクトップ資格にのみ、またはグローバル アプリケーション資格にのみ適用されます。

表 5-9. グローバル資格変更時のオプション

オプション	説明
--entitlementName	変更するグローバル資格の名前。
--scope	グローバル資格の範囲。有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ■ ANY。ポッド フェデレーションの任意のポッドで View がリソースを探します。 ■ SITE。ユーザーが接続しているポッドと同じサイト内のポッドでのみ View がリソースを探します。 ■ LOCAL。ユーザーが接続しているポッドでのみ View がリソースを探します。
--description	(オプション) グローバル資格の説明。説明には 1 文字から 1024 文字が使用できます。
--disabled	(オプション) 以前に有効化されたグローバル資格を無効化します。
--enabled	(オプション) 以前に無効化されたグローバル資格を有効化します。
--fromHome	(オプション) ユーザーにホーム サイトがある場合、ユーザーのホーム サイトで View がリソースを探すようになります。ユーザーにホーム サイトがない場合、ユーザーが現在接続しているサイトで View がリソースを探し始めます。
--disableFromHome	(オプション) グローバル資格で以前に --fromHome オプションが指定されていた場合、--fromHome オプション機能は無効になります。
--multipleSessionAutoClean	(オプション) 同じ資格の余剰ユーザー セッションをログオフします。複数のセッションは、セッションを含むポッドがオフラインになり、ユーザーが再度ログインして別のセッションを開始し、問題のポッドが元のセッションでオンラインに戻るときに発生する可能性があります。 <p>複数のセッションが発生すると、セッションを選択するように指示するメッセージが Horizon Client によって表示されます。このオプションは、ユーザーが選択しないセッションに何が発生するかを決定します。</p> <p>このオプションを指定しない場合、ユーザーは Horizon Client でログオフするか、セッションを起動してログオフして、自身の余剰セッションを手動で終了する必要があります。</p>
--disableMultipleSessionAutoClean	(オプション) グローバル資格で以前に --multipleSessionAutoClean オプションが指定されていた場合、--multipleSessionAutoClean オプション機能は無効になります。
--requireHomeSite	(オプション) ユーザーにホーム サイトがある場合のみグローバル資格が使用可能になります。このオプションは --fromHome オプションも指定されたときのみ適用可能です。
--disableRequireHomeSite	(オプション) グローバル資格で以前に --requireHomeSite オプションが指定されていた場合、--requireHomeSite オプション機能は無効になります。
--defaultProtocol	(オプション) グローバル デスクトップ資格におけるデスクトップのデフォルト表示プロトコル。有効な値は RDP および PCOIP です。 <p>グローバル デスクトップ資格にのみ適用されます。</p>
--htmlAccess	(オプション) このオプションを指定すると、ユーザーはグローバル資格で HTML Access 機能を使用してリソースにアクセスできます。HTML Access を使用すると、エンド ユーザーは Web ブラウザを使用してリモート リソースにアクセスできるため、ローカル システムにクライアント ソフトウェアをインストールする必要がありません。
--disableHtmlAccess	(オプション) グローバル資格で以前に --htmlAccess オプションが指定されていた場合、--htmlAccess オプション機能は無効になります。
--appVersion	(オプション) アプリケーションのバージョン。 <p>グローバル アプリケーション資格にのみ適用されます。</p>

オプション	説明
<code>--appPublisher</code>	(オプション) アプリケーションのパブリッシャ。 グローバル アプリケーション資格にのみ適用されます。
<code>--appPath</code>	(オプション) C:\Program Files\app1.exe などのアプリケーションのフル パス名。 グローバル アプリケーション資格にのみ適用されます。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --updateGlobalEntitlement --entitlementName "Windows 8 Desktop" --scope ANY --isDedicated
```

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --updateGlobalApplicationEntitlement --entitlementName "Microsoft Office PowerPoint" --scope ANY
```

グローバル資格の削除

グローバル デスクトップ資格を削除するには、`--deleteGlobalEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。グローバル アプリケーション資格を削除するには、`--deleteGlobalApplicationEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --deleteGlobalEntitlement --entitlementName name
```

```
lmvutil --deleteGlobalApplicationEntitlement --entitlementName name
```

コマンドの使用方法

指定したグローバル資格が存在しない場合、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、またはコマンドでグローバル資格を削除できない場合は、これらのコマンドによってエラー メッセージが返されます。

オプション

削除するグローバル資格の名前を指定するには、`--entitlementName` オプションを使用します。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --deleteGlobalEntitlement --entitlementName "Windows 8 Desktop"
```

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --deleteGlobalApplicationEntitlement --entitlementName "Microsoft Office PowerPoint"
```

グローバル資格へのプールの追加

グローバル デスクトップ資格にデスクトップ プールを追加したり、グローバル アプリケーション資格にアプリケーション プールを追加したりするには、`--addPoolAssociation` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --addPoolAssociation --entitlementName name --poolId poolId
```

使用上の注意

このコマンドは、プールを含むポッド内の View 接続サーバインスタンスで使用する必要があります。たとえば、グローバル デスクトップ資格に関連付けるデスクトップ プールが `pod1` に含まれる場合、`pod1` に存在する View 接続サーバインスタンスでコマンドを実行する必要があります。

グローバル資格の一部にするプールごとにこのコマンドを繰り返します。個々のプールは、1 つのグローバル資格にのみ追加することができます。

重要: グローバル アプリケーション資格に複数のアプリケーション プールを追加する場合、同じアプリケーションを追加する必要があります。たとえば、電卓と Microsoft Office PowerPoint を同じグローバル アプリケーション資格に追加しないでください。異なるアプリケーションを追加すると、期待どおりの結果を得ることができなくなり、資格のあるユーザーにその都度異なるアプリケーションが提供されます。

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、指定した資格が存在しない場合、プールが指定した資格にすでに関連付けられている場合、プールが存在しない場合、またはコマンドでプールをグローバル資格に追加できない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

プールをグローバル資格に追加するときには、これらのオプションを指定できます。

表 5-10. グローバル資格にプールを追加するためのオプション

オプション	説明
<code>--entitlementName</code>	グローバル資格の名前。
<code>--poolID</code>	グローバル資格に追加するプールの ID。プール ID はポッドに表示されるプール名と一致する必要があります。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --addPoolAssociation
--entitlementName "Windows 8 Desktop" --poolId "Windows 8 Desktop Pool A"
```


グローバル資格からのプールの削除

グローバル デスクトップ資格からデスクトップ プールを削除したり、グローバル アプリケーション資格からアプリケーション プールを削除したりするには、`--removePoolAssociation` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --removePoolAssociation --entitlementName name --poolID poolid
```

使用上の注意

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、指定したグローバル資格またはプールが存在しない場合、またはコマンドでプールをグローバル資格から削除できない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

プールをグローバル資格から削除するときには、これらのオプションを指定できます。

表 5-11. グローバル資格からのプールの削除のオプション

オプション	説明
<code>--entitlementName</code>	グローバル資格の名前。
<code>--poolID</code>	グローバル資格から削除するプールの ID。プール ID はポッドに表示されるプール名と一致する必要があります。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--removePoolAssociation --entitlementName "Windows 8 Desktop" --poolID "Windows 8 Desktop Pool A"
```

グローバル資格へのユーザーまたはグループの追加

ユーザーをグローバル資格に追加するには、`--addUserEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。グループをグローバル資格に追加するには、`--addGroupEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --addUserEntitlement --userName domain\username --entitlementName name
```

```
lmvutil --addGroupEntitlement --groupName domain\groupname --entitlementName name
```

使用上の注意

グローバル資格に追加するユーザーまたはグループごとに、これらのコマンドを繰り返します。

指定した資格、ユーザー、またはグループが存在しないか、コマンドがその資格にユーザーまたはグループを追加できない場合は、これらのコマンドによってエラー メッセージが返されます。

オプション

グローバル資格にユーザーまたはグループを追加する場合には、これらのオプションを指定できます。

表 5-12. グローバル資格にユーザーまたはグループを追加する場合のオプション

オプション	説明
<code>--userName</code>	グローバル資格に追加するユーザーの名前。フォーマット <i>domain\username</i> を使用します。
<code>--groupName</code>	グローバル資格に追加するグループの名前。フォーマット <i>domain\groupname</i> を使用します。
<code>--entitlementName</code>	ユーザーまたはグループを追加するグローバル資格の名前。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --addUserEntitlement
--userName domainCentral\adminCentral --entitlementName "Agent Sales"
```

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--addGroupEntitlement --groupName domainCentral\adminCentralGroup --entitlementName "Agent Sales"
```

グローバル資格からのユーザーまたはグループの削除

ユーザーをグローバル資格から削除するには、`--removeUserEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。グループをグローバル資格から削除するには、`--removeGroupEntitlement` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --removeUserEntitlement --userName domain\username --entitlementName name
```

```
lmvutil --removeGroupEntitlement --groupName domain\groupname --entitlementName name
```

使用上の注意

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、ユーザー名、グループ名、または資格が存在しない場合、または資格からユーザーまたはグループを削除できない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

グローバル資格からユーザーまたはグループを削除するときには、これらのオプションを指定する必要があります。

表 5-13. グローバル資格からユーザーまたはグループを削除するオプション

オプション	説明
--userName	グローバル資格から削除するユーザーの名前。フォーマット <i>domain\username</i> を使用します。
--groupName	グローバル資格から削除するグループの名前。フォーマット <i>domain\groupname</i> を使用します。
--entitlementName	ユーザーまたはグループを削除するグローバル資格の名前。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--removeUserEntitlement --userName domainCentral\adminCentral --entitlementName "Agent Sales"
```

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--removeGroupEntitlement --groupName domainCentral\adminCentralGroup --entitlementName "Agent Sales"
```

ホーム サイトの管理

lmvutil コマンド オプションを使用し、ホーム サイトを作成、変更、削除および一覧表示できます。ユーザーまたはグループとホーム サイトとを関連付けて、デスクトップおよびアプリケーションの選択を特定のサイトに制限することができます。

■ ホーム サイトの構成

ユーザーのホーム サイトを作成するには、--createUserHomeSite オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。グループのホーム サイトを作成するには、--createGroupHomeSite オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。また、これらのオプションを使用して、ホーム サイトとグローバル デスクトップ資格またはグローバル アプリケーション資格を関連付けることもできます。

■ ホーム サイトの削除

ユーザーとホーム サイト間の関連付けを削除するには、--deleteUserHomeSite オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。グループとホーム サイト間の関連付けを削除するには、--deleteGroupHomeSite オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。

ホーム サイトの構成

ユーザーのホーム サイトを作成するには、--createUserHomeSite オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。グループのホーム サイトを作成するには、--createGroupHomeSite オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。また、これらのオプションを使用して、ホーム サイトとグローバル デスクトップ資格またはグローバル アプリケーション資格を関連付けることもできます。

構文

```
lmvutil --createUserHomeSite --userName domain\username --siteName name [--entitlementName name]
```

```
lmvutil --createGroupHomeSite --groupName domain\groupname --siteName name [--entitlementName name]
```

使用上の注意

サイトを作成してからでないと、ホーム サイトとして構成できません。[サイトの作成](#)を参照してください。

Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、指定したユーザーまたはグループが存在しない場合、指定したサイトが存在しない場合、指定した資格が存在しない場合、またはコマンドでホーム サイトを作成できない場合は、これらのコマンドによってエラー メッセージが返されます。

オプション

ユーザーまたはグループのホーム サイトを作成するときには、これらのオプションを指定できます。

表 5-14. ユーザーまたはグループのホーム サイトを作成するためのオプション

オプション	説明
--userName	ホーム サイトに関連付けるユーザーの名前。フォーマット <i>domain\username</i> を使用します。
--groupName	ホーム サイトに関連付けるグループの名前。フォーマット <i>domain\groupname</i> を使用します。
--siteName	ホーム サイトとしてユーザーまたはグループに関連付けるサイトの名前。
--entitlementName	(オプション) ホーム サイトに関連付けるグローバル デスクトップ資格またはグローバル アプリケーション資格の名前。指定したグローバル資格をユーザーが選択すると、ホーム サイトによりユーザー独自のホーム サイトが上書きされます。このオプションを指定しない場合、コマンドによってグローバル ユーザーまたはグループのホーム サイトが作成されます。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --createUserHomeSite --userName domainEast\adminEast --siteName "Eastern Region" --entitlementName "Agent Sales"
```

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--createGroupHomeSite --groupName domainEast\adminEastGroup --siteName "Eastern Region"
--entitlementName "Agent Sales"
```

ホーム サイトの削除

ユーザーとホーム サイト間の関連付けを削除するには、--deleteUserHomeSite オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。グループとホーム サイト間の関連付けを削除するには、--deleteGroupHomeSite オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --deleteUserHomeSite --userName domain\username [--entitlementName name]
```

```
lmvutil --deleteGroupHomeSite --groupName domain\groupname [--entitlementName name]
```

使用上の注意

これらのコマンドは、指定したユーザーまたはグループが存在しないか、指定したグローバル資格が存在しないか、コマンドがホーム サイト設定を削除できない場合、エラー メッセージを返します。

オプション

ユーザーまたはグループとホーム サイト間の関連付けを削除するときには、これらのオプションを指定できます。

表 5-15. ホーム サイトを削除するためのオプション

オプション	説明
--userName	ユーザーの名前。フォーマット <i>domain\username</i> を使用します。
--groupName	グループの名前。フォーマット <i>domain\groupname</i> を使用します。
--entitlementName	(オプション) グローバル デスクトップ資格またはグローバル アプリケーション資格の名前。このオプションは、指定したユーザーまたはグループのホーム サイトとグローバル資格間の関連付けを削除する場合に使用できます。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --deleteUserHomeSite
--userName domainEast\adminEast
```

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--deleteGroupHomeSite --groupName domainEast\adminEastGroup
```

Cloud Pod アーキテクチャ構成の表示

lmvutil コマンド オプションを使用して、Cloud Pod アーキテクチャ構成に関する情報を一覧表示することができます。

■ グローバル資格の一覧表示

すべてのグローバル デスクトップ資格を一覧表示するには、--listGlobalEntitlements オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。すべてのグローバル アプリケーション資格を一覧表示するには、--listGlobalApplicationEntitlements オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。

■ グローバル資格のプールの一覧表示

特定のグローバル資格に関連付けられたデスクトップ プールまたはアプリケーション プールを一覧表示するには、--listAssociatedPools オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。

■ グローバル資格のユーザーまたはグループの一覧表示

特定のグローバル資格に関連するすべてのユーザーまたはグループを一覧表示するには、--listEntitlements オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。

■ ユーザーまたはグループのホーム サイトの一覧表示

特定のユーザー用に構成されたすべてのホーム サイトを一覧表示するには、--showUserHomeSites オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。特定のグループ用に構成されたすべてのホーム サイトを一覧表示するには、--showGroupHomeSites オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。

■ ユーザーの有効なホーム サイトの一覧表示

特定のユーザーの有効なホーム サイトを特定するには `--resolveUserHomeSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。ホーム サイトは、ユーザーとグループ、およびグローバル資格に割り当てることができるため、ユーザーに複数のホーム サイトを構成することができます。

■ デスクトップ プールの専用割り当ての一覧表示

ユーザーとグローバル資格の組み合わせに対するデスクトップ プールの専用割り当てを一覧表示するには、`--listUserAssignments` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ Cloud Pod アーキテクチャ トポロジでのポッドまたはサイトの一覧表示

ポッド フェデレーション内のポッドを表示するには、`--listPods` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。ポッド フェデレーション内のサイトを表示するには、`--listSites` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

グローバル資格の一覧表示

すべてのグローバル デスクトップ資格を一覧表示するには、`--listGlobalEntitlements` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。すべてのグローバル アプリケーション資格を一覧表示するには、`--listGlobalApplicationEntitlements` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --listGlobalEntitlements
```

```
lmvutil --listGlobalApplicationEntitlements
```

使用上の注意

これらのコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャが初期化されない場合、またはコマンドがグローバル資格を一覧表示できない場合に、エラー メッセージを返します。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --listGlobalEntitlements
```

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--listGlobalApplicationEntitlements
```

グローバル資格のプールの一覧表示

特定のグローバル資格に関連付けられたデスクトップ プールまたはアプリケーション プールを一覧表示するには、`--listAssociatedPools` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --listAssociatedPools --entitlementName name
```

使用上の注意

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていないか、指定したグローバル資格が存在しない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

関連付けられたデスクトップ プールまたはアプリケーション プールを一覧表示するグローバル資格の名前を指定するには、`--entitlementName` オプションを使用します。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --listAssociatedPools
--entitlementName "Agent Sales"
```

グローバル資格のユーザーまたはグループの一覧表示

特定のグローバル資格に関連するすべてのユーザーまたはグループを一覧表示するには、`--listEntitlements` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --listEntitlements {--userName domain\username | --groupName domain\groupname | --
entitlementName name}
```

使用上の注意

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、指定したユーザー、グループ、または資格が存在しない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

グローバル資格の関連付けを一覧表示するときには、これらのオプションを指定できます。

表 5-16. グローバル資格の関連付けの一覧表示のオプション

オプション	説明
<code>--userName</code>	グローバル資格を一覧表示するユーザーの名前。フォーマット <code>domain\username</code> を使用します。このオプションを使用すると、指定したユーザーに関連付けられているグローバル資格がすべて一覧表示されます。
<code>--groupName</code>	グローバル資格を一覧表示するグループの名前。フォーマット <code>domain\groupname</code> を使用します。このオプションを使用すると、指定したグループに関連付けられているグローバル資格がすべて一覧表示されます。
<code>--entitlementName</code>	グローバル資格の名前。このオプションを使用すると、指定したグローバル資格のユーザーとグループがすべて一覧表示されます。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --listEntitlements
--userName example\adminEast
```

ユーザーまたはグループのホーム サイトの一覧表示

特定のユーザー用に構成されたすべてのホーム サイトを一覧表示するには、`--showUserHomeSites` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。特定のグループ用に構成されたすべてのホーム サイトを一覧表示するには、`--showGroupHomeSites` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --showUserHomeSites --userName domain\username [--entitlementName name]
```

```
lmvutil --showGroupHomeSites --groupName domain\groupname [--entitlementName name]
```

使用上の注意

これらのコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、指定したユーザー、グループ、またはグローバル資格が存在しない場合にエラー メッセージを返します。

オプション

ユーザーまたはグループのホーム サイトを一覧表示するときには、これらのオプションを指定できます。

表 5-17. ユーザーまたはグループのホーム サイトを一覧表示するためのオプション

オプション	説明
<code>--userName</code>	ユーザーの名前。フォーマット <code>domain\username</code> を使用します。
<code>--groupName</code>	グループの名前。フォーマット <code>domain\groupname</code> を使用します。
<code>--entitlementName</code>	(オプション) グローバル資格の名前。このオプションは、ユーザーまたはグループのホーム サイトとグローバル資格の組み合わせを表示する場合に使用します。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --showUserHomeSites
--userName example\adminEast
```

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --showGroupHomeSites
--groupName example\adminEastGroup
```

ユーザーの有効なホーム サイトの一覧表示

特定のユーザーの有効なホーム サイトを特定するには `--resolveUserHomeSite` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。ホーム サイトは、ユーザーとグループ、およびグローバル資格に割り当てることができるため、ユーザーに複数のホーム サイトを構成することができます。

構文

```
lmvutil --resolveUserHomeSite --entitlementName name --userName domain\username
```


使用上の注意

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていないか、指定したグローバル資格またはユーザーが存在しない場合に、エラー メッセージを返します。

オプション

ユーザーの有効なホーム サイトを一覧表示するときには、これらのオプションを指定する必要があります。

表 5-18. ユーザーの有効なホーム サイトを一覧表示するためのオプション

オプション	説明
<code>--entitlementName</code>	グローバル資格の名前。このオプションでは、ユーザーとグローバル資格の組み合わせに対して有効なホーム サイトを特定できます。グローバル資格は、ユーザーに構成されているホーム サイトごとに異なる可能性があります。
<code>--userName</code>	一覧表示するホーム サイトを持つユーザーの名前。フォーマット <code>domain\username</code> を使用します。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--resolveUserHomeSite --userName domainEast\adminEast
```

デスクトップ プールの専用割り当ての一覧表示

ユーザーとグローバル資格の組み合わせに対するデスクトップ プールの専用割り当てを一覧表示するには、`--listUserAssignments` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --listUserAssignments {--userName domain\username | --entitlementName name | --podName name |
--siteName name}
```

使用上の注意

このコマンドで生成されるデータは、Cloud Pod アーキテクチャのブローカー ソフトウェアで内部的に管理されます。

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、またはコマンドが指定されたユーザー、グローバル資格、ポッド、サイトを見つけることができなかった場合に、エラーを返します。

オプション

ユーザー割り当てを一覧表示するとき、以下のオプションの 1 つを指定する必要があります。

表 5-19. ユーザー割り当て一覧表示のオプション

オプション	説明
--userName	割り当てを一覧表示するユーザーの名前。フォーマット <i>domain\username</i> を使用します。このオプションを使用すると、指定したユーザーのグローバル資格、ポッド、およびサイト割り当てが一覧表示されます。
--entitlementName	グローバル資格の名前。このオプションを使用すると、指定したグローバル資格に割り当てられたユーザーがすべて一覧表示されます。
--podName	ポッドの名前。このオプションを使用すると、指定したポッドに割り当てられたユーザーがすべて一覧表示されます。
--siteName	サイトの名前。このオプションを使用すると、指定したサイトに割り当てられたユーザーがすべて一覧表示されます。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword
"*" --listUserAssignments --podName "East Pod 1"
```

Cloud Pod アーキテクチャ トポロジでのポッドまたはサイトの一覧表示

ポッド フェデレーション内のポッドを表示するには、--listPods オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。ポッド フェデレーション内のサイトを表示するには、--listSites オプションを指定して lmvutil コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --listPods
```

```
lmvutil --listSites
```

使用上の注意

これらのコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されない場合、またはコマンドがポッドまたはサイトを一覧表示できない場合に、エラー メッセージを返します。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --listPods
```

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*" --listSites
```

SSL 証明書の管理

Cloud Pod アーキテクチャ環境で SSL 証明書を作成したり、保留中の SSL 証明書をアクティベーションしたりするには、lmvutil コマンドのオプションを使用します。

Cloud Pod アーキテクチャ機能は、双方向 SSL に署名証明書を使用して VIPA 通信チャネルの保護と検証を行います。これらの証明書はグローバル データ レイヤに配布されます。Cloud Pod アーキテクチャ機能で、これらの証明書が 7 日ごとに置き換えられます。

特定の View 接続サーバインスタンスの証明書を変更するには、保留中の証明書を作成し、グローバル データ レイヤ レプリケーションプロセスがその証明書をすべての View 接続サーバ インスタンスに配布するまで待機してから、その証明書をアクティベーションします。

`lmvutil` コマンドの証明書オプションを使用するのは、証明書の信頼性が損われ、View 管理者が 7 日以内に証明書を更新する場合に限定されます。これらのオプションが適用されるのは、オプションを実行する View 接続サーバ インスタンスだけです。すべての証明書を変更するには、View 接続サーバ インスタンスごとにオプションを実行する必要があります。

■ 保留中の証明書の作成

保留中の SSL 証明書を作成するには `--createPendingCertificate` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

■ 保留中の証明書のアクティベーション

保留中の証明書をアクティベーションするには `--activatePendingCertificate` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

保留中の証明書の作成

保留中の SSL 証明書を作成するには `--createPendingCertificate` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --createPendingCertificate
```

使用上の注意

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、またはコマンドが証明書を作成できない場合に、エラー メッセージを返します。

例

```
LMVUtil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--createPendingCertificate
```

保留中の証明書のアクティベーション

保留中の証明書をアクティベーションするには `--activatePendingCertificate` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行します。

構文

```
lmvutil --activatePendingCertificate
```

使用上の注意

このコマンドを使用するには、まず `--createPendingCertificate` オプションを指定して `lmvutil` コマンドを実行し、保留中の証明書を作成する必要があります。グローバル データ レイヤのレプリケーション プロセスを待機して、証明書をすべての View 接続サーバ インスタンスに配布した後で、保留中の証明書をアクティベーションします。保留中の証明書をアクティベーションしてからすべての View 接続サーバ インスタンスに完全に複製する場合は、VIPA 接続障害によってブローカーの問題が発生する可能性があります。

このコマンドは、Cloud Pod アーキテクチャ機能が初期化されていない場合、またはコマンドが証明書をアクティベーションできない場合に、エラー メッセージを返します。

例

```
lmvutil --authAs adminEast --authDomain domainEast --authPassword "*"
--activatePendingCertificate
```